

關東軍
南滿洲鐵道株式會社
滿洲電信電話株式會社
指定工場



滿洲乾電池株式會社

奉天市鐵西區裕工街一段二四號
電話春日 ③ 六六〇四七七番
受電路號(ホウテン・マンカシ) 六六〇四七七番

和洋室

日滿

ホテル
グリル

電話代表番號三二七二一六番
奉天千代田通四〇番地

奉天市鐵西區嘉工街二段八地號

自轉車



株式會社 滿洲宮田製作所

電話 園
電話 園
電略ホウ(3)3(3)
テ六五二
ン五九九
ミ八七一
ヤ七九〇
夕番番番

奉天市鐵西區勸工街一段十二地號

紹興酒 賢文
高粱燒酒 菊泉

釀造元



滿洲造酒株式會社

支社
電話 園三六一七三番
奉天本局私書函第七五號
電話(マ)又ハ(マ)ソ
撫順糧棧街一八番地
電話 二二三
新電話 高砂町五六一番
電話 三五一

營業品目
 電氣架線用品
 線路用品
 水道用品
 亞鉛鍍金物品
 鐵真鍮鑄物
 電柱並腕木
 專賣特許第八〇八六五號
 クレオソート注



大連市榮町二番地四拾號
佐藤洋行

換信口電略「サ」又「ハ」サト
 電話營業用
 住宅
 三三三三六
 二一三三三
 二六二二一
 八七七九
 一三二一九
 番番番番番

通關運送業

國神ストロブ

尾張時計會社

特約販賣店

大連市山縣通一三八番地

三宏洋行

電話 三三三〇七三番

主要營業種目

電機部
 有線無線電信電話機
 發電機、擴音機、電氣計器
 各種送受信管、電球
 電氣器具、蓄音機、留聲機
 其他一般部分品
 商事部
 發動機、ポンプ、農具
 種苗、礦油、自轉車リヤカ
 自動車部分品、帆布
 綿糸布、綿毛布、毛皮
 一般直輸入

奉天平安廣場
 合資會社
祥利洋行

支店 電話 三三五六二番
 大連市伊勢町鈴鹿ビル
 電話 二二二八番
 支店 電話 三三五六二番
 大連市伊勢町鈴鹿ビル
 電話 二二二八番

營業種目
 上下水道
 電道パイプ



日本ヒューム管株式會社奉天支店

奉天市大和區千代田通四〇(奉天貿易會館内)
 奉天工場 奉天市大和區東亞街六六五番
 支店 奉天市大和區橋區銀座六四四番
 支店 大連市東區橋區銀座八幡・札

大連市設常盤橋市場組合

電話 (3) 四五一四番
電話 (3) 四四七一番

營業科目
一、各種商品ノ買賣仲立並ニ保證行爲
二、各種商品ノ賣買委託並ニ特約販賣
三、各種商品ノ貸付

四、貿易館及共同店舖ノ經營並貸付
五、問屋、運送、倉庫
六、前各項ニ附帶スル事業



滿洲輸入株式會社

本社 大連市羽衣町十番地
支店 奉天市千代田通四十番地
出張所 大連、天津、奉天、新、哈爾濱、安東、天津、其他滿洲各地

支店 旅順、大石橋、營口、鞍山、遼陽、撫順、本溪湖、安東、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、新、吉林、哈爾濱、齊齊哈爾、錦州、牡丹江

營業目的

- 一、カーバイド系化學工業品ノ製造及販賣
- 二、副産物ノ加工及其ノ販賣
- 三、前各項ニ關聯スル事業ニ對スル投資
- 四、第一項及第二項ニ附帶スル事業

滿洲電氣化學工業株式會社

新京特別市大同大街三〇一
理事長 山崎元幹

資本金 五百萬圓

營業種類
土地建物ノ經營處分及委託管理
住宅資金ノ供給、火災保險代理店業務

東拓土地建物株式會社

專務取締役 吉岡義三郎
本店 大連市山縣通一四二番地
支店 大連、奉天、新、哈爾濱、安東、天津、其他滿洲各地

滿洲土木建築業協會

大連市山縣通百五十八番地
電話 (二) 四六二三番
(三) 二二三四三番

營業科目

- 建築材料販賣
土木工事請負
耐火供給鐵石
耐火窯業原料
耐火煉瓦製造
耐火煉瓦製造
耐火煉瓦製造
耐火煉瓦製造



福井商工株式會社

支店及出張所 大連、奉天、新、哈爾濱、安東、天津、其他滿洲各地
代表取締役 福井米次郎
電話 (三) 三三三三番
(四) 三三三三番
(五) 三三三三番
(六) 三三三三番
(七) 三三三三番

營業科目

國產陸王號自動自轉車
 米國製ハローダビットソン車
 自動車及附屬品
 H M S 耐震蓄電池
 一般機械工具其他

大連市紀伊町四十二番地

三共販賣株式會社

電話長二一四七二八番
 振替大連二五一三番
 受信略語タイレンリクオウ
 出張所、天津、奉天、新京、哈爾濱

大連市臺山町二十七番地



株式會社

大同

棉

廠

電話四一九四六四番
 振替口座大連四五四〇番
 發信電略(タイメン)又ハ(タイ)
 受信和文(タイレン)タイドウメン)

郊外住宅地並土地
 附新築住宅分讓



大連郊外土地株式會社

本社 大連市桃源臺百二十一番地

電話南局
 振替口座
 現場專用日
 夜間休息日
 大連(5)(5)(5)(5)
 一一二二二
 〇六四四四
 七二三三三
 七二五四三
 番番番番番

土地・房產・動產賣買

仲介人 新連號

主任 清

水

勤

新京市長春大街一〇五號
 電話(2)四四七五番

工具器機
工計接機
動氣熔接
電電氣
電氣
ル氣盤器
ト一壓電閉
モ變配開

鑛山用機械

電線電纜
絶縁材料
配線材料
照明氣具

日立製作所 特約店
滿洲電線

奉天信濃町十三
合資會社 森商店

電氣機器材料

滿洲文化の向上は

日本書籍の普及と
日本文具の圓滑なる配給にありと信ず



書籍と文具



奉天市春日町 331 株式會社 奉天 大阪屋號書店 電話 2529
振替 奉天 437 新京 4275

(大阪屋號チェーン) 東京・大連・旅順・新京・京城

資本金貳百五十拾萬圓

役員

專務取締役 原村 上田 孝三
取締役 松安 達野 耕三
同 同 同 村 惣 繁十
同 同 同 同 同 雄郎 造郎 七



關東州水産振興株式會社

營業目

魚市場取引業務ノ代行
水産資金ノ融通
水産需品ノ供給

本店 大連市乃木町十八番地
電話代表 〇五一九三番
旅順支店 旅順市巖町十六番地
電話代表 六五番

業務

食料品製産副産物
加工及右原料生産

興亞食料工業株式會社

事務所 大連市三春町二六

電話 〇三 一四 三六一九〇番

器具試驗所、水産専門人員訓練所の設置、水産組合の設立、農産物交易所の新設(ハ)蠶産開拓
一、教育部(イ)學校の復興(ロ)教科書の整備(ハ)綜合國立大學發給所を設け有識の士を多數招聘する(ニ)教員の再教育養成
一、司法部(イ)未開の地方法院の開放(ロ)既開地方高等法院の整備(ハ)司法人員の選定養成
一、外交部 機構整備と行務刷新をはかる

改良棉産管理委員會

維新政府實業部では改良棉産管理委員會をして右の如く昭和十四年度府産具體計畫の實行に着手してゐる。

- 一、日支官民合作による棉産改進會の設置
- 一、棉花研究機關の創設
- 一、棉産技術員の養成
- 一、舊國民政府の農事試驗場を再開し棉花實験區として二千畝を充てる
- 一、優良苗木の輸入配布

華興商業銀行設立

中支那通商對策については豫てより興亞院華中連絡部を始め現地各機關並びに維新政府當局に於て慎重なる検討を遂げた結果、維新政府治下に於ける金融機能は戰後全くその機能を喪失し企業貿易の振興上より金融機關の復興は一日も忽にすべからざる現狀にあるので取敢へず華興商業銀行を上海に設置、商業銀行としての機能を發

揮せしめる一方これに紙幣發行の特權を賦與國內民衆に流通手段を供給すると共に貿易通貨としての機能を發揮せしめることとなり、昭和十四年五月十六日支兩國旗に彩られた寶樂安路二號の假營業所に於て華々しく開業、初日の預金總額は新政府無利息預金一千萬圓を合し日支人併せて一千百萬圓を突破、異常の好成績を収めた。尙爲營業は未だ開始されなかつたが法幣の華興券への兌換は一萬圓に上つた。尙預金利息は當座預金一分五厘、特別當座預金二分、通知預金二分、定期預金五分、で法幣華興券共に同率である。

組織及營業内容

- △資本金 五千萬圓(全部拂込)
- △組織 維新政府法人
- △本店 上海寶樂路二號に置く
- △支店 開業と同時に南京支店(禮園路朱甯路角)も營業を開始するが蘇州、杭州等の支店開設は若干遅れる見込
- △特權 維新政府より紙幣發行權を賦與
- △營業期限 三十年
- △營業内容 確實なる商業手形の割引、確實なる有價證券又は換貨容易なる商品を担保とする貸付又は手形割引、國內外爲替及び爲替特許の買賣、地金銀及び外國貨幣の買賣、各種預金の受入、手形の取立、保證預り、各種貯蓄
- △國際事務、新銀行は維新政府の國際事務に就て之

を取扱ひ得る規定となつてゐる。
△總 裁、前、維新政府財政部長、陳錦濤
△副總裁、前、滿洲中央銀行理事、繁尾鐵一
△理 事、前、日領調査役、岡崎嘉平太
同、前、大陸銀行理事、沈汝昌
同、前、正金銀行検査人、海老原竹之助
△監 事、前、維新政府財政次長、陳日平

華興券の特質

- 一、一志二片ペーシスの日本圓及び國幣通貨たる滿洲國幣及び北支國幣等と異なり中央、中國、交通農民黨國府治下の法幣の所謂ブラック・マーケットに於ける價值水準たる八片ペーシスをこえる點。
- 二、爲替管理、貿易管理等は之を行はず世界にも稀な自由な貿易通貨として新銀行が自由に外貨の買取に應ずる點の二つにある。

維新政府聲明

維新政府は華興商業銀行創立に當り五月一日次の聲明書を發表した。
本政府成立以來既に一年有餘、その全力を傾注して中支那地域の秩序恢復と經濟復興とに盡せし來り、其の效を認めつつあるの時、茲に華興商業銀行の設立を見たるは衷心より慶賀に堪へざる所なり、惟ふに現在中央、中國、交通、農民等の發達銀行は悉く將政權の政治的、軍事的目的に左右せられ銀行の經濟的機能を忘却し民衆の金融上經濟上の利便は全く杜絶せられ居るものと吾人も遺憾に非ず、これに加ふるに將政權はその厭れる抗戰思想のために民衆の公意を踏躓して

上海東南地區開放

大上海都市計畫については豫めて維新政府、興亞院華中連絡部及び上海恒産會社の手によつて漸々計畫の進捗を見てゐるが土地收用の進展に伴ひ愈々第一次計畫中江灣の市政府東南方地區一帯凡そ三十萬坪の住宅及び商業地區を一般に開放することとなつた。

武漢特別市政府成立式

新東亞建設の一頁を飾る武漢特別市政府の歴史の成立式は武漢新政府の誕生に先立ち昭和十四年四月二十日漢口に於て武漢三鎮七十萬民衆の熱狂的歡呼裡に盛大に舉行された。武漢特別市政府成立宣言を朗讀、基本法の宣言もなし茲に武漢特別市政府は日出度く誕生した。

首腦者顔觸れ

同市政府は市長の下に參議府、參事室、秘書處、財政、社會、宣傳、建設、教育の五局及び警察總監部、臨時司法部を置き得る規定である。市長以下市政府首腦者の顔觸れは左の如くである。
△市長、張仁壽△參議府、(議長)何佩璋、(副議長)石星川、(參議)雷壽榮、楊繼緒、

湯啓鴻、程明超、鄧鶴、金安人、劉道仁、范鴻泰、陶敦禮、關國書、計國楨、李鼎安、葉桐霖、魯方才、相輝廷、王武剛、△參事室、(參事)林德基、周朝瑛、△秘書處長、楊鴻章、△財政局長、梁慶平、△社會局長、楊鴻章、△宣傳局長、徐慶之、△建設局長、陳秉琦、△教育局長、高伯勳、△警察總監劉幹如、臨時司法部長、周鴻波。

梁行政委員長訪日

梁鴻志行政委員長は維新政府樹立以來日

蒙古聯合自治政權下の情勢

蒙古聯合自治政府成立

昭和十二年九月四日張家口において誕生した察南自治政府を皮切りに晉北自治政府は同二十日大同に、蒙古聯合自治政府は十月二十七日厚和に相ついで續々成立し久しきに亘る國民政府憲政の刷新を脱するに至つたが、三自治政權相互の連絡を密にし相協力して共通の諸問題を處理して樂土建設

本朝野一致の絶大な援助に對し感謝の意を表すると共に東亞新協同體制の確立に關し隔意なき意見の交換を行ふため昭和十三年十一月十五日飛行機で入京した。
駐滿通商代表に朴耕宇氏
維新政府の駐滿通商代表は疊に前宣傳局長劉麗業氏に決定を見たが母堂急逝のため赴任不能となつたので昭和十四年六月印刷局參事朴耕宇氏が改めて駐滿代表に決定した。

に邁進すべく同年十一月二十二日張家口において蒙滿聯合委員會の結成をみた。爾來約二箇年防共の旗印をまつ向にかゝげ、民族協和、民政向上のために、產業金融、交通その他凡ゆる方面に亘り緊密な協力を保持し來つたが、對外諸情勢の緊迫に即應し強力なる單一政權を結成することになり七百萬民衆の輿論を擔つて昭和十四年九月一日張家口において花々しく蒙古聯合自治政府成立式が舉行された。

德王主席宣誓

余は萬の神佛聖靈の下に謹みて宣誓す。建國精神を體し誠實に組織法及び諸法令を遵守し防共協和及び厚生に最善の努力を行使し以て東亞新秩序の建設に邁進し光輝ある建國の胚基を永遠鞏固ならしむべし。
成吉思汗紀元七三四年
民國二十八年九月一日

施政要綱

- 一、東亞の運命を担ひこれが實國宣言を期す
- 二、諸族を大同協和し人民團體を以て大いに經濟を進行す
- 三、新大に民政を興し安寧を確保し、人民の幸福を十全す
- 四、共產主義の毒害より諸族を解放し世界防共陣の強化に資す
- 五、盟を友邦と結び同盟と相輔り東亞新秩序建設に參與す

新政府暫行組織法

蒙古聯合自治政府暫行組織法左の通り。
第一章 總則
第一條 蒙古聯合自治政府は東亞の運命を担ひ民族協和を鞏固し人民の幸福を計り且つ共產主義を排除する事を以て施政の綱領とす
第二條 蒙古聯合自治政府は民意を以て政治の大本とす

耳達野友那の遺像——蒙古聯合自治政權下の情勢

第二章 主席及副主席

第三條 主席は蒙古聯合自治政府を代表し本法の定規により政權を總掌す
第四條 主席事故ある時は法律の定むる所により副主席之を代理す
第五條 主席及び副主席は民意に基きて就任す主席及び副主席の任期は三年とす
第六條 主席は法律を議決しその公布及び執行を命ず
第七條 主席は法律により法院をして司法權を行はしむ
第八條 主席は官制を定め官吏を任命し及びその俸給を定む但本法は法律に特例を掲げたるものは各その事項による

第三章 參議府

第九條 主席は軍を統帥す
第十條 主席は軍費を命ずるの權を有す軍費の用件及び效力は法律を以て之を定む
第十一條 參議府は參議を以て之を組織す
第十二條 參議府は官制の定むる所により重要政務に關し主席の諮詢に答ふ
第十三條 政務院は諸般の行政を掌理す
第十四條 政務院に政務院長及び各部長を置く
第十五條 政務院長は主席を扶け政務に就きその責任す
第十六條 政務に關する教書、法律及び豫算は政務院長、主席部長と共に之に關署す
第十七條 法院は法律により民事及び刑事の訴訟を審判す、但行政訴訟及びその他の特別訴訟に關しては法律を以て別に之を定む法院の組織及び法官の資格は法律を以て之を定む

第四章 政務院

第十八條 法院の對審判決は之を公開す、但安寧秩序又は風俗を害する恐れある時は法律により又は法院の決議を以て公開を停止する事を得
第十九條 人民の保障
第二十條 蒙古聯合自治政府治下の人民はその民族宗教の如何を問はず政府の平等なる保護を受く
第二十一條 蒙古聯合自治政府治下の人民は身體の自由を侵される事なく公の權力による制限は法律の定むる所による
第二十二條 蒙古聯合自治政府治下の人民は財政權を侵さる、事なし、公益上の必要による制限は法律の定むる所による
第二十三條 蒙古聯合自治政府治下の人民は法律の定むる所により公務に參與するの權利を有す
第二十四條 蒙古聯合自治政府治下の人民は法律に定めたる法官の職制を受くるの權利を有す
第二十五條 蒙古聯合自治政府治下の人民は政府又は地方團體の公費による各種の施設を享用するの權利を有す

六五

政廳 盟 官制

蒙古聯合自治政府の政廳、盟官制左の通り。
蒙古聯合自治政府暫行組織法五章を置く

交易市場暫行規定を公布すると共に市の南方三キロ石羊橋に一大市營業審判交易所を開設した。

雜穀類搬出取締令公布

蒙疆各地に於て農産物物價殊に雜穀類の著しき昂騰を見つゝあり。之が原因として北支に於ける一部不良商人の價格引揚策並びに同じく北支に於ける農産物の在貨不足などがあげられてゐるが、昭和十四年五月十日附を以て各自治政府の名に於いて雜穀類搬出取締令を公布し之れに對處することとなつた。即ち右取締令によれば今後法定雜穀類を蒙疆地域外に搬出せんとする者は特別の事由ある者を除き總て各自治政府の許可を受ける事を要し許可の條件としては商品の數量並びに價格に重點が置かれる事になつてゐる。この取締令の趣旨は、一つには蒙疆地域の食糧を確保すると共に北支に對しても食糧の圓滑なる供給を圖る一方搬出價格統制によつて適正なる價格を維持し以て蒙疆地域内の價格をも適正なる水準にまで引下げんとするものである。

蒙古自治政府豫算

蒙古聯合自治政府の昭和十四年度豫算は左の如し。(單位千圓)

部	科	本年度	前年度
總計		11,100	11,700
行政部		1,700	1,800
財政部		3,800	3,800
農林部		8,300	8,300
衛生部		5,500	5,500
教育		1,300	1,300
警察		1,400	1,400
司法		1,300	1,300
建設		1,300	1,300
交通		1,300	1,300
労働		1,300	1,300
その他		1,300	1,300

講習所費として十三萬を計上してゐる。

開發三箇年計畫に修正

蒙疆産業開發については昭和十三年四月五箇年計畫が樹立され設置各部門毎に埋藏資源の開發につき研究されて來たが最近日本内地に於ける物資動員計畫並びに爲替管理の強化等に即應し右五箇年計畫を修正して日本の物動計畫と歩調を一つにする必要が生じ目下聯合委員會に於て新たに産業開發三箇年計畫を樹立したのは滿洲國の五箇年計畫は既に第三年度に入り日本の四箇年計畫も亦第二年度に入つて何れも昭和十六年度に完成するので蒙疆政府は右を基準として本年度を第一年度となし三箇年計畫に修正したものである。これによつて蒙疆産業は從來の戦後の緊急處理に重點を置いた城から脱して感々本格的に豊富なる埋藏資源を掘り出して新たに東亞經濟ブロックの有力單位として登場する事になつたものである。

愛郷青年團結

蒙古自治政府管下五萬の青年層を打つて一丸とする興亞運動の原動力たる愛郷青年團結式は昭和十四年三月一日管下一齊に舉行された。

極東ノ聯の現況

序

滿ソ國境紛争史に新たなる一頁を加へた張鼓峰、ノモンハン兩事件更に國內的にはソ聯全體的軍事體制化の一環としての極東建設投下豫算の躍進的膨脹、赤軍四十萬の増兵等は單にそれだけの事實を以てしても政治、經濟、軍事、文化の各分野に亘り總ゆる方面からの關心を牽きつけるに充分だが一九三九年三月十四日第十八回共產黨大會席上に於てモロトフ人民委員會議長の行つた第三次五箇年計畫報告演説の内容は特に極東ソ聯と複雑微妙な關係に置かれてゐる我が方の注目を牽くものがあり、極東ソ聯の全貌把握の要望が再び強調されるに至つた。以下その性質上極く解說的にこれが實態を述べることとする。

〔註〕モロトフ人民委員會議長より發表された第三次五箇年計畫の注目すべき特點としては△極東國防工業と武器製造能力の向上を圖る△敵艦を牽逐し極東各工

極東ソ聯の現況——行政區劃・面積・人口

蒙中心地を西極國境よりウラル山脈西方へ移動せしむ△極東に治金、機械製造等基礎工業の樹立を企圖更に化學工業の充實を圖る等。

從來一般に「極東ソ聯」と呼ばれる地方はソ聯政府の制定した行政區劃「極東地方」に限定されず、廣義な意味に於て日本及び滿洲國と直接乃至は半間接的に重要關係を持つソ聯領土の極東に於ける左記地域を指すもので以下「極東ソ聯」なる語意も同様地域を包含するものである。

極東地方
ヤクート自治共和國
ブリヤート蒙古自治共和國
東部シベリヤ州
〔註〕右區劃別は一九三六年の「新憲法の制定によるもので、その後ソ聯に於ては更に區劃改組を行ひ東部シベリヤ州をイルクーツク州とチタ州に二分し極東地方の如きも一九三八年十月二日附ソ聯邦最高ソウエート幹部會法令に依り沿海地方(中心地ウラチオ)及びハバロフスク地方(中心地ハバロフスク)の二地方に分劃されたが、右に關する新資料を以てした

め止むなく「新憲法」規定の行政區劃別に準據した△從來行政上から「獨立州」とされてゐた極東人自治州は「新憲法」に依れば極東地方に、更に「新行政區劃」に依ればハバロフスク地方に包含さる。

行政區劃・面積・人口

行政區劃(別)	面積(平方軒)	人口(千人)
極東地方	11,100	11,700
ヤクート共和國	3,800	3,800
ブリヤート蒙古共和國	3,800	3,800
東部シベリヤ州	8,300	8,300
〔註〕右人口數は一九三九年一月十七日現在△右のち新行政區劃によれば極東地方人口は沿海地方人口(九〇七、二〇〇人)ハバロフスク地方人口(一、四三〇、八七五人)の二より更に東部シベリヤ州人口はチタ州人口(一、一五九、四七八人)イルクーツク州人口(一、二八六、六九六人)の二より夫々構成されハバロフスク地方人口中にはユダヤ自治州人口の一〇八、四一九人が含まれる。		
更にこれ等の各區域は次の行政區域別に細別されてゐる。		
〔註〕「新行政區劃」以後の資料なきためそれ以前のものに依る。		
(一) 極東地方		
總面積……二、九五四、二〇〇平方軒		
總人口……二、三三八、一〇〇		
1、アムール州		
面積……二、三、八〇〇平方軒		
中央都市……ブラゴウエシチエンスク(人口五八、七六一)		
2、ゼーヤ州		
面積……一、七五、六〇〇平方軒		

極東ソ聯の現況——行政區劃・面積・人口

- 1、中央都市……ルフロウオ(人口——)
- 2、カムチャツカ州
- 3、中央都市……ペトロパヴロフスク(人口 九一、六七八)
- 4、ニジネ・アムール州
- 5、沿海州
- 6、中央都市……ウラヂオ(人口 二〇六、四三二)
- 7、サハリン州
- 8、中央都市……アレクサンドロフスク(人口——)
- 9、ウスリースク州
- 10、中央都市……ウオロシロフ(人口 七〇、六二八)
- 11、ハバロフスク州
- 12、中央都市……ハバロフスク(人口一九九、三六四)
- 13、極東自治州
- 14、中央都市……ビロ・ビジヤン(人口——)

極東地方は文字通り極東ソ聯の東端にあり、その西方はヤクート共和国及び東部シベリヤ州に隣接し、北は北氷洋、ベーリング海峡で圍繞されオホーツク海及び太平洋に向つてカムチャツカ半島が突出してゐる。帝政ロシア時代に於てこの地方は廣大な「植民地シベリヤ」の極東にあつて本國から遠く離れ、且つ氣候嚴寒のため殆んど關心を持たれず、極めて豊富な礦物資源を無限に埋藏しながら永く放棄されて來た。更に加人の流徙地として顧みられなかつた故全く人烟稀れの邊境地だつたがソ聯政府樹立後急速開發のテンボは進められ工業、運輸、農業、教育、文化その他廣汎な社會主義建設は着々と實現、最近數年間に完全なその面目を一新するに至つた。更にその南部國境は蜿蜒三千軒に亘つて滿洲國と直接境を接し、従つて日本の大陸政策とソ聯の極東建設の政治上、軍事上の勢力が國境線を中心に狭んで相肉迫する最も注目すべき地域である。滿洲國境に沿つて配備の極東赤軍四十萬の存在と幾多紛争事件の勃發とがこれを明確に物語つてゐる。

民族分布 人口密度非常に低く特にオホーツク地方及びカムチャツカ地方は稀薄である。住民の比較的密集してゐるのは自然の條件に恵まれたウスリースク地方とアムール河中流一帯である。人口の密度に比較して複雑なのはその種類で全地域に於て三十六の異つた民族が居住してゐる。基本民族はツングース人(ゴリド人、オロチ人、ウデヘ人、オリチ人、ネギタル人、オロク人等)古亞細亞人で、支那人及び朝鮮人も古く居住してゐる。しかし現に住民の大部分を占めるのは歐羅巴ロシア及びシベリヤより移住した民族である。左にこの代表的民族の分布率を百分率で示せば

大ロシア人	六二・四
小ロシア人	一六・七
白ロシア人	二・二
朝鮮人	八・九
支那人	三・八
蒙古人	〇・四
土人	三・四
その他	二・二

(一) ヤクート自治共和国
 面積……三、〇三〇、九〇〇平方軒
 人口……四〇〇、五〇〇
 中央都市……ヤクーツク(人口 二二、〇〇〇)

はウイテイム河河口よりヤクーツク市に至るレナ河、アルダン河、アムガ河下流に限られる農牧地域で、此處に全住民の八四%が居住してゐる。住民はヤクート人、ロシア人、猶太人、ツングース人、タタール人、ユカギル人、チクチ人、オロチオン人その他で、これ等諸民族の分布率を百分率を以て左に示せば

ヤクート人	八二・三〇
ロシア人	一〇・四三
チクチ人	〇・二九
タタール人	〇・五八
ツングース人	四・〇八
オロチオン人	〇・〇八
チクチ人	〇・四五
ユカギル人	〇・一四
その他	一・六五

(二) ブリヤート蒙古自治共和国
 面積……三七六、四〇〇平方軒
 人口……五四二、二〇〇
 中央都市……ウラン・ウデ(人口 一二九、四一七)

この地は古來ブリヤート・モンゴル族の居住地で一八五八年ロシアと清朝の間に結ばれた璦琿條約により黒龍江の左岸が露領に編入されるに至り彼等の居住地も露領と北部蒙古とに二分されるに至つた。その後ソ聯政權の樹立以來ブリヤート蒙古自治共和国として現在に及んでゐる。地形は殆んど山脈地帯で僅かにバイカル湖に注ぐセレンガ河の流域に平野を見るのみである。従つて産業も農畜程度を出ず、これを經濟地理の觀點より見れば微々たるものだが、これを軍事的見地より洞察する時赤色外蒙を経て東亞に伸ばせんとするソ聯極東赤化政策の重要足場として重大な意義を持ち現にウラン・ウデより南下して外蒙の首都ウランバートル・ホリに至る軍用鐵道も秘密裡に工事を繼續されつゝある。なほその文化發展は近年見るべきものあり教育施設の如きも漸次向上を示し蒙古語、露語の日報新聞も數種發行されてゐる。

民族分布 ブリヤート蒙古と言つてもこの地方にはロシア人最も多く赤軍關係、工場労働者等の居住を見てゐる。その中に一般に「古義派教徒」と呼ばれるものがあるがこれはポーランド分割後ロシアに移住しエカテリナ二世の時(一七六二年—一七九六年)ザバイカルに送られて來た古義派教徒の子孫で非常に團結力の強いのが特徴である。ロシア人に次ぎブリヤート人あり、更にタタール、ツングース人等も若干居住、専ら農、牧、狩獵方面に従事してゐる。左にこの民族分布率を百分率にて示せば

ロシア人	五五・〇
ブリヤート人	四三・八
その他	一・二

(四) 東部シベリヤ州
 面積……一、四一四、七〇〇平方軒
 人口……二、四四六、二〇〇
 中央都市……チタ(人口 一〇二、五五五)及びイルム(人口 二四三、三八〇)

力資源で例へばアンガラ河の如きは現在までに判明した範囲内でも既にその發電能力千六百萬馬力と稱せられてゐる。

故にソ聯では第二次、第三次五箇年計畫を通じて此處にアンガラ・バイカル綜合企業を建設し無盡蔵なる天然資源開發の本格化と更に重工業地帯の發展策と併せて軍需工業の強化を圖らんと企圖してをり、バイカル湖を迂迴して極東ソ聯領を隔斷するバム鐵道の建設、西部シベリヤ、カザクスタンをも包含した二百八十萬平方軒の廣大なる地域に跨がるウラル・クズバス綜合企業の出現と共にソ聯の極東改造計畫を決定づける三大建設の一つと言はねばならぬ。

民族分布 右に述べた經濟地理上の特性性を反映し數年前までその人口密度も非常に稀薄だったが近來急速に膨脹一九三九年一月實施の國勢調査の結果によれば極東ソ聯の中でも最も稠密地域と化しつつある。その大部分を占めるのはロシア人で、そのほかブリヤート人、ウズベグ人、タタール人、オスタチヤタ・サモエド人、イオチオト人等がある。この民族分布率を百分率で示せば

大ロシア人	七八・〇
小ロシア人	二・八
ブリヤート人	四・〇
その他	九・〇
モロ	六・二

國民經濟

農業部門

概観 極東ソ聯の一般的な經濟特徴は帝制時代におけると同様に、半殖民的範疇を脱し得てゐる點にあり、随つてその市場は商品市場としての意義を著しく強めてゐる。即ち極東ソ聯と歐露との關聯を見るに、歐露側よりの各種工業製品の反對給付としては、僅かに水産物、木材、金、毛皮類に過ぎず、しかも食料經濟の點より見る時、極東地方の人口を十分養ひ得るだけの農業を保持し得ず、これを西部シベリヤより供給してゐる始末である。第二次五箇年計畫以來、ソ聯は極東面に對する軍備強化と關聯して重工業基地を是非ともこの地方へ建設せねばならぬ必要を痛感し、西部シベリヤ地方へウラル・クズバス綜合企業を建設し、重工業製品の供給基地を極東面に著しく接近せしめたが、更に第三次五箇年計畫では西部シベリヤ地方のアンガラ河の急流を利用する水力電氣とその地方の鐵、石炭

とを以て、アンガラ・ストロイを企圖し、現在これに手を染めつつある。而して他方極東地方においても、ニコラエフスク及び北樺太及びブレイヤ及び北興安嶺方面の鐵及び石炭を利用して重工業を建設する計畫があり、既に問題のバム鐵道の建設も開始され、コムソモリスに製鐵所の建設も行はれつつある模様である。かくの如く第二次五箇年計畫以來の極東ソ聯は急激に重工業建設が行はれつつあるが、現在のところ華々しい展開を見るに至つてゐぬ。而してこの原因は地理的に見て宿命的と言つてよくこの地方が歐露の勢力圏下より離れて寧ろ日滿プロック經濟下にはいつて初めて新面目を發揮するのではないかとさへ思考される。尤も第一次五箇年計畫當時は極東地方の開發は歐露自身を目標とするよりも寧ろ日本のもつ市場を目的とすべきだとの意見が有力であつて、計畫も寧ろ日本乃至北滿市場を目標として樹立されてゐた程である。即ち極東地方經濟開發は日滿プロック經濟下にあつて、初めてその眞價を發揮し得べきもので莫大な地下埋藏資源も有効に利用され得る。これを客観的な條件によつて示せば

1、極東地方の食料經濟の貧困性……西部シベリヤより毎年二、三十萬噸の食料輸入を不可避とする。

- 2、努力資源の不足。
- 3、自給的工業資源の不平衡性。
- 4、歐露より遠隔の地にある地理的條件の不利……距離が價格形成の五〇%を占めるに至り、更に勞働もソ聯全國平均並に東部シベリヤ地方に比して六〇%高となつてゐる。更にこれより豫想されることは勞働者の生産性の低劣と云ふことである。

（單位 噸）

穀物	九六九、八一
（内）食料穀物	五九五、〇二五
工業穀物	一〇〇、二六九
馬鈴薯	一、〇九〇、八五一
合計	二、一六〇、九三一

（註）食料穀物はライ麦、小麦、蕎麥、粟、粟米を指す

となつてをり、一方人口は一九三九年の國勢調査に基くと次の如くなつてゐる。

（單位 人）			
ブリヤート領古	都市	農村	合計
チタ	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
ハバロフスク州	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
沿海地方	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
合計	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇

これを基礎として年需要穀物數量を求めると都市一人當り消費量二二〇噸、農村二八〇噸と算出せば

都市	三九三、三三三
農村	四九六、六六六
合計	八八九、〇〇〇

となる。即ち食料穀物の約六十萬噸に對して二八・九萬噸乃至三〇萬噸の不足となる。

この他肉類、馬鈴薯、砂糖、食鹽等について見ても夫々不足を告げてをり、食料品は殆んど全部他より仰がねばならぬ状態にある。食料經濟のかくの如き状態は必然的に人口問題に影響し、ソ聯極東の人口増加の制約條件となつてゐる。即ち努力の欠乏を不可避としてゐる。

努力問題 以上の如き食料經濟の貧困に對する原因は暫らくをきその及ぼす影響より見れば最も影響甚しきは努力問題である。ソウエト政權樹立以前及び第一次五箇年計畫以前においては極東の努力は其隣接せる地方（日本内地、朝鮮及滿洲）より供給してゐたが、第一次五箇年計畫以降は他國労働者の入國を制限したため、直ちに努力不足が生じてゐる。如何にこれを補充せんとしたかは、第一次五箇年計畫の極東地方移民計畫に明らかになつてゐる。それによつて一九二七年―二八年の人口二、〇〇八、三九二人を一九三二年―三三年に二、九九四、九千二人に増大せしめんとしてゐる。その主力は農業移民の約五十七萬人である。かうした計畫も甘く行かず、結局現在どの位人口が増加してゐるか云ふに、これを一九三三年と比較すると次表の如くなつてゐる。

一九三三年	一九三九年	増加
一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人
一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人
一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人	一、〇〇〇、〇〇〇人

農村人口を汲み出して之を都市へ集中したのである。試みに極東地方の都市について見るに

都市名	一九二六年(人)	一九三七年(人)	比率(%)
浦	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇
ハバロフスク	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇
イルクーツク	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇
チタ	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇
ウラシシ	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇
ウラシシ	一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇

即ち極東ソ聯には未耕地は二五、八三三平方マイルに達し、既耕地と略々同一面積に達してゐる。然し乍らこの未耕地の開墾は頗る容易でなく一九一〇年以降は新來農業移民はアムール及び沿海州の山林と濕地に限定せざるを得なくなつた程度で技術的には開拓可能であるが經濟的意義をもつまでには多分の投資を必要とする土地である。一九一四年農業開拓に行つた時、二十五年間

貧困性が約束づけられてゐる。農業適地の問題 ソ聯極東の地勢は大體次の如く形成されてゐる。

1. ザバイカル地方 滿洲國に接する草原地帯を除いては悉く山嶺地帯で、ヤプロノウイ山嶺のほか數條の山嶺が南西より北東に走りその山嶺の中間にソング、オノン、シルカ河等の河川が深い峡谷を形成してゐる。
2. アムール地方 北部はスタノウイ山嶺とその支脈に圍まれ東は小興安嶺によつて沿海州と接し、中部にゼイヤ、プレーヤ、セレムジヤ及び黒龍江流域の廣大な平野を有する。
3. 沿海州 シホタ、アリン山嶺が日本海沿岸に並行

に百萬人の移民を行ふ計畫を樹て、開拓工事に三億七千五百萬留の投資を中央に申請し一九一五年ゼイヤ、アムール兩河の分水嶺の面積一、六〇〇〇の試驗區域に於て延長七軒深さ一四〇〇の溝渠を掘つて農業開拓を行つたが、失敗して工事費は一箇當一、七二八留に達し入植人員も初年度四萬五千人の豫定が幸して五百人はいつたに過ぎない。かくの如く農業適地も現在のところ大量の農業移民を入れる餘地がないこと

鑛業部門

概況 重工業建設の基本的條件となる自然的條件即ち主として鑛物資源について見るに極めて豊富で今後努力及び資本を投入すれば、東洋のザールが再現し得られる程である。今これを極めて要約的に各區別の資源埋藏量並に可能埋藏量を表記しその價值について見ると左表の如くなる。

種別/地別	1	2	3	4	5	6	7	8
鉄 (千噸)	鐵金鑛の工業的埋藏は未詳見	CA+B+C 三、〇〇〇〇〇	A+B+C 一、〇〇〇〇〇 C 九、五三七〇	意圖なし	A+B+C 一、五三五〇	ニコライエスキ橋 A+B+C 一、〇〇〇〇〇 C 二、〇〇〇〇〇	A+B+C 一、三三九〇一 C 一、〇四二、四三三	オホツク、カムイヤツク、カムドイルスキ山嶺にあり詳細未明
銅	—	—	—	—	—	—	—	—
ウオルフラム	—	—	—	—	—	—	—	—
モリブデン	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛	—	—	—	—	—	—	—	—
錫	—	—	—	—	—	—	—	—
ニッケル	—	—	—	—	—	—	—	—
白金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

に全力を傾注してゐることは當然首肯されるわけである。このことは換言すれば、極東水面に接近した地方においては、重工業建設は困難であることを意味し、強いて建設せんとせば沿アムール地方のニコライエフスタ鐵礦とブレイヤ炭乃至樺太、或ひは薩城炭を以て之にあてるはかなく、南部沿海もボシエツト灣附近のものを利用する小規模のものとなる。唯石油基地のみは北緯太油田が存在し、複合金屬基地はシホタ・アリンの錫工業がある。

ソ聯極東第三次五箇年計畫

概況 第二次五箇年計畫以來の極東の經濟建設は總べて國防觀點に立つて推進せしめられてをり極東兵站基地の東漸がその重要目標となつてゐる。第三次五箇年計畫においてもこの目標には何等の變化なく第二次五箇年計畫のテーゼを更に強化、これを完成せしめんとしてゐる。
第二次五箇年計畫における極東地方の經濟建設に關するロシヤ共和國人民委員會の決議内容は
1、社會主義的經濟及び文化の基礎の設立並にその發展、
2、右目的遂行に際しての障礙除去、
3、新經濟部門の新設と大電力を基礎とする第三次五箇年計畫への下準備。

4、極東地方における原料燃料の自給自足を確保するため、先づ石炭業、製鐵業、林業、金屬業、鑛山工業、農産物加工工業の工業化を實施する。と云ふにあり、究局のところ極東水面に接近せるソ聯領域の不經濟的な性格を極力工業化によつて解消し、自給自足經濟の確立を期してゐる。
第三次五箇年計畫はモロトフの第十八回共産黨大會におけるテーゼによつて見られる如く
極東地方は第三次五箇年計畫において同地方の生産品、礦中食料品並に農産物を以て自己の需要を充し得る程度である。
と述べてゐる如く、第二次五箇年計畫の延長に過ぎぬことが窺知出来る。而してこの計畫も極東ソ聯の自然資源分布條件に制約され工業化の主力は西部ほど強く、東部ほど弱い。その計畫の要點は
石炭、洋灰の自給自足を確立しコムソリストク、ニコラエフスタ、ハバロフスクに地方電力供給を目的とする發電所を建設せしめ、コムソリストク、ハバロフスク、ヤクーツク、チタ、バイカル及びアマールスタ、ヤクーツクの兩製鐵所を建設し、自動車工場、洋灰工場を建設する。コムソリストクのセルロース製紙工場を建設完了、極東木材工業の生産能力を増大、ウラン、ウデ、イリクツク、ハバロフスクに製糖工場を、コムソリストク、ハバロフスクに製粉工場、ソフガソ、ベトロバウロフスクに造船所、ニコラエフスタ、ベトロバウロフスクに造船所を建設する。極東地方の油田に對する地質調査をすみかムチヤツカ、オホツク海沿岸及びアマール地方の

開發を促進する。と云ふにある。扱て極東ソ聯をイルクーツク州、チタ州、ブライヤト蒙古自治共和國、ハバロフスク州、沿海州に分つて、第二次五箇年計畫の實績と第三次五箇年計畫につき簡単に紹介して見やう。
(1) イルクーツク州
△第二次五箇年計畫實績
工業 イルクーツク州の國營工業總生産額(國防工業及び金屬業を除く)は、第二次五箇年計畫中七億七千八百三十萬留に達し最終年度の一九三七年度は二億四千五十萬留に達し、一九三二年に比して一九〇%増加である。
石炭 一九三七年間に二六〇萬噸
煤 一九三七年間に五七〇萬噸
製鐵 一九三七年間に五七〇萬噸
鋼 一九三七年間に五七〇萬噸
輕工業總生産額 一九三七年間に六八〇萬留
即ち工業では重工業の比重が輕工業に比して適に大となつてゐることが判明する。
農業 機械化は著増し、M.T.O.(機械トラクター配給所)は一九三七年末五二、トラクター總馬力數三萬六千三百馬力、一九三八年現在トラクター數二、八四六臺、コンバイン數四八八臺、一九四二年にはトラクター七、六六六臺、コンバイン二、五八四臺に増加の豫定。
畜産業 一九三七年の家畜頭數は一九三二年に比して牛三一・五%増、羊一一・一%増、豚一六%増、馬は變化しないと云ふ狀態

である。
鐵道 東部シベリヤ鐵道の貨物取扱數量は一九三二年到第一、六五四、六〇〇噸、發送二、九五一、六〇〇噸、一九三七年は到第一、七五六、八〇〇噸、發送五、五一九、九〇〇噸に達してゐる。第二次五箇年計畫時の東部シベリヤ鐵道に對する投資額は三億七千二百萬留に達した。
水運 一九三二年の八萬五千噸より一九三七年は三六三、〇〇〇噸に増加してゐる。
道路 州道路網の密度は一千平方米に對し二三軒(モスクワ州は四三〇軒イワノフ州三五〇軒に比すべくもない)鐵道を含め道路總延長は一九三七年末一萬八千八百軒、そのうち地方道路一萬六千三百軒第二次計畫で竣工した道路はヤクーツク道路(イルクーツク・カチユグ)の改修、アンガロレンスキー道路の建設が行はれた。
小賣商業網の商品取引高 一九三二年の二億留より一九三七年十二億六千萬留、小賣網は一九三二年の一、八〇九萬留より一九三七年二、六五〇萬留に増進された。
△第三次五箇年計畫
工業 一九三四年度の國營工業總生産額は一九三七年度の二億四千五十萬留の八六・六%増の四億四千八百六十萬留となつてゐる。先づ重工業の生産計畫を見るに

石炭 一九三七年度の三百萬噸より一九四二年には六百萬噸と倍加し、州内の自給自足を確保するだけでなくモロトフ、アマール兩鐵道の需要がザバイカル以て不足する場合を補ふこと、してゐる。
製鐵 一九四二年三百萬噸としてゐる。而してイルクーツク及びチタ地方に重工業基地を建設することを計畫してゐる。即ち
(イ) ルドノノルスキー鐵礦とチタ地方の石炭を利用して年産能力二十六萬噸乃至三十萬噸の製鐵所を建設する。
(ロ) チタ地方の石炭を利用して二千萬留の投資により年産能力十三萬噸の石炭液化工場を建設する。
(ハ) 二千萬留の資本を投じて能力三千噸乃至五千噸の合成ゴム工場を建設する。
(ニ) 四百萬留の投資で能力五萬噸の製糖工場を建設する。
(ホ) 一千二百萬留を投じて能力一萬噸の自動車組立工場を建設し同時に二千萬留を投じて能力五萬噸の自動車タイヤ製造工場を建設し合成ゴム生産とタイヤアップせしめる。
(ヘ) 六萬留で三千臺の自動車修理工場を建設。
(ト) イルクーツク、チタ、チタ地方の重工業地帯への電力供給を目的とするチタ地方のチタ地方の電力供給所(第一期能力三萬五千キロワット)を建設し、新設製鐵所には製糖ガスを利用する製鐵所附製糖所並にイルクーツク市郊外レーニー工業地帯に中規模製糖所を建設する。
これを見るに第二次五箇年計畫以來傳へられてゐたアンガラ・ストロイの一部計畫の實績であることが判明する。
農業 一九三七年の七十四萬一千噸より一九四二年

には九十六萬二千噸と増大し一割増収獲十五ツエントネルと豫定してゐる。従つて收穫高も一九三七年三千二百萬布度より一九四二年七千七百布度と計畫し穀類の自給自足が可能となる。野菜も一九三七年の五千三百噸より一九四二年五萬四千五百噸に増大し一割増収獲一八〇ツエントネルに増加せしめ、イルクーツク州の住民一人當り消費量は野菜、馬鈴薯をそれぞれ百五十斤となり得る。M.T.O.を二十七萬、家畜は牛四一萬頭、馬一萬一、三、豚二〇〇%の増加となる。
(2) チタ州
工業 採炭業は一九三八年二百十萬噸より一九四二年五百萬噸に増産せしめられ特に地方經濟炭は一九三九年の二萬五千噸より一九四二年度十六萬噸に飛躍せしめられる。都市經濟炭は一九三九年の一萬噸より六萬噸になる。發電事業は一九四二年までに地方發電所を二八箇所設置し、地方工業の増産は煉瓦、石炭、陶器類、家具類、荷馬車の製造に馬力をかける。
農業 一九三九年の穀類播種面積四十七萬九千噸より一九四二年六十二萬四千噸に擴大し收穫量は一割當り八・一ツエントネルより十五ツエントネルとする。牧畜業はチタ州は牧地、乾草刈取面積が廣大なため將來性あり、現在家畜頭數四百四十萬頭を第三次計畫では半八五%綿羊及び山羊一二三%、豚一七〇%、馬四〇%の増加を豫定してゐる。而して全極東の食肉供給地と

なりんとした。...

(4) ハバロフスク州

第三次五箇年計画の重点は「ハバロフスク地方の内海であるオホツク海の全經濟的綜合開發で、第一計費に基くオホツク海上の運輸と通信施設の建設及び展開」におかれ、これと聯動的に「コルイマ盆地地方の開発と發展、カムチャツカの石炭、石油探掘、毛皮並に海獣捕獲業、アムール河口、カムチャツカ及び北樺太の漁業發展を企圖し、この計畫基盤においてニコラエフスク港の大改築と、カムチャツカ開發の二つが

一九三八年度においても略これと同一水準にある。而してかくの如き生産状態が如何なる消費状態にあるかと云ふに

種類別	極東地方	東部シベリヤ地方	合計
工業	1,500,000	1,100,000	2,600,000
水道	100,000	100,000	200,000
電氣	500,000	1,000,000	1,500,000
その他	500,000	500,000	1,000,000
合計	3,500,000	2,700,000	6,200,000

(単位千圓)

(註) 極東地方は一九三六年推定
東部シベリヤ地方は一九三七年推定
となつてゐる。即ち極東地方では稍不足し東部シベリヤ地方では自給自足の域に達してゐることが判明する。

極東地方における一九三六年以降一九三八年までの極東石炭運輸トラストの各炭礦別實收高は(單位千圓)

炭礦名	一九三六	一九三七	一九三八
アルチエム	1,800	2,100	2,500
タウリエンカ	1,100	1,200	1,300
キウ	1,200	1,300	1,400
ライチハ	1,200	1,300	1,400
合計	5,300	5,900	6,600

となつてをり、北樺太石炭は一九三六年度オホツクエフスク

極東ソ聯の現況——極東工業の現状

企圖されてゐる。先づニコラエフスクを改築し、これにクレイキング工場を設け、又コムソリスターニコラエフスク間に鐵道を建設し、カムチャツカの石炭及び石油を開發する。而して一方ブレリヤ炭田を大急ぎ開發し、又これに複合金屬工業、錫工業を建設することが企圖されてゐる。漁業は特にアムール河筋に力點がおかれ、アムール漁業工場を再建し、河筋に五箇所以上の發動機漁船ステーションを設け冷凍倉庫を建設、更に製品の輸送と保管のために強力な捕魚の製造トラストの組織が計畫されてゐる。農業はまだ作付面積擴大まで行かず僅に移民の來住を獎勵する程度である。勞力問題はこの地方の致命的な悩みで殊に工業幹部員の問題は現在のところ中央より補給をまて他なく、第三次五箇年計畫ではこれを現地で解決すべく計畫してゐる。

年次	極東石炭	北樺太	合計
一九三二年	2,500	1,500	4,000
一九三三年	2,800	1,800	4,600
一九三四年	3,200	2,100	5,300
一九三五年	3,500	2,400	5,900
一九三六年	3,800	2,700	6,500
一九三七年	4,100	3,000	7,100

(単位千圓)

經濟上より企圖され、從つて重工業及び交通部門の強化に全力を傾注してゐる。先づ石炭工業は一九三七年度の二・五倍の増産を目論み、一九四二年には自給自足を豫定してゐる。機械製作業に於ては自動車修理工場、修理設備を有する自動車ガレージを建設する。その他建築材料である煉瓦工場を建設する。次いで鐵鑛と複合金屬の埋藏を利用して複合金工業を企圖し、一方電力の増産を圖り、剩餘電力を保有する。交通は全海上運輸船隊を國營海上船舶局の組織に統一し、運營の強化を圖り、鐵道は輸送事業の根本的改善、分岐驛の擴大、都市郊外の電化、停車場、車輛修理工場の新設を企圖してゐる。

年次	極東石炭	北樺太	合計
一九三二年	2,500	1,500	4,000
一九三三年	2,800	1,800	4,600
一九三四年	3,200	2,100	5,300
一九三五年	3,500	2,400	5,900
一九三六年	3,800	2,700	6,500
一九三七年	4,100	3,000	7,100

極東工業の現状

石炭業 極東ソ聯の探炭高は左表の如くなつてゐる。(單位千圓)

種類別	極東地方	東部シベリヤ地方	合計
マカリエフ	6,000	1,000	7,000
アルゴウ	5,000	800	5,800
アレクサンドロフ	1,000	500	1,500
合計	12,000	2,300	14,300

次にザバイカルにおける各炭礦別實收高及び計畫は(單位千圓)

炭礦名	一九三七年	一九四二年
チエレンバ	1,250	3,400
ブカチヤチヤ	1,850	2,000
タルバガタイ	1,000	700

一九三八年度においても略これと同一水準にある。而してかくの如き生産状態が如何なる消費状態にあるかと云ふに

となつてゐる。極東ソ聯の石炭は無盡蔵と稱してよい位豊富であり生産手段さへうまく補給がつけば相當程度までの増産は易々たるものである。

因に極東における石炭埋藏量は次の如くなつてゐる(單位千圓)

種類別	極東地方	東部シベリヤ地方	合計
チエレンバ	2,200	1,000	3,200
ブカチヤチヤ	4,000	1,600	5,600
タルバガタイ	1,600	1,600	3,200
合計	7,800	4,200	12,000

極東ソ聯の現況——極東畜産業の現況

品名	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年
小麦	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000
大麦	800,000	900,000	1,100,000	1,300,000	1,500,000
粟	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000
雑穀	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000
豆	200,000	250,000	300,000	350,000	400,000
油	100,000	120,000	150,000	180,000	200,000
糖	50,000	60,000	70,000	80,000	90,000
畜産物	300,000	350,000	400,000	450,000	500,000
羊毛	100,000	120,000	150,000	180,000	200,000
皮革	50,000	60,000	70,000	80,000	90,000
合計	3,000,000	3,500,000	4,200,000	5,000,000	5,800,000

扱て極東地方の農業社會化状態を見るに一九三六年六月現在においては、極東地方の農業生産は、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。

極東地方の農業生産は、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の農業生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。

極東畜産業の現況 一九二八年より一九三三年間に

直る農村のホルホズ化の旋風下にソ聯の畜産業は大打撃をうけたことは周知のことである。極東においてもその例に洩れぬが、一九三四年より當局の救済策によつて再び復舊し初めたる。その救済策は絶対に保有頭数を減少せしめず、屠殺を厳禁し國家的に

一九三六年の極東地方の畜産物生産額は、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の畜産物生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の畜産物生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。これは、極東地方の畜産物生産が、一九三三年に比し、約四割増進した。

に養殖を圖つたものである。最近におけるソ聯極東の家畜動態は次の如くなつてゐる。

品名	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年
牛	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000
山羊	800,000	900,000	1,100,000	1,300,000	1,500,000
猪	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000
鶏	400,000	500,000	600,000	700,000	800,000
合計	2,800,000	3,300,000	4,000,000	4,700,000	5,300,000

品名	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年
肉類	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000
皮革	800,000	900,000	1,100,000	1,300,000	1,500,000
羊毛	600,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000
合計	2,400,000	2,800,000	3,400,000	4,000,000	4,500,000

品名	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年
羊毛	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000
皮革	800,000	900,000	1,100,000	1,300,000	1,500,000
合計	1,800,000	2,100,000	2,600,000	3,100,000	3,500,000

極東ソ聯の現況——極東畜産業の現況

極東ソ聯の現況——極東林業の現況

ヤタート 一五 三〇 五〇 五〇
 ザバイカル 一〇 一〇 一〇 一〇
 極東ソ聯計 三三 三三 三三 三三
 極東の比重 三三% 三三% 三三% 三三%

即ち極東の比重が極めて大となつてゐる。ソ聯における産金の意義は國際貸借決済の唯一の武器で、保有外貨の不足をこれにて補ふにあり、外國貿易上よりしても大々的産金を奨励し、産金地の發見者にはプレミヤムをつけ、ために資本主義國におけると同様のゴールド・ラッシュを現出してゐると言はれてゐる。極東方面の金鑛開發は現在のところ十管區に分れてゐる。

1、ウエルブネ・アムールソト……チタ州の東端部よりシヤリナダにかけてのアムール流域、更にゼーヤの右支流たるシヤリナダ河、ウルカン河の砂金地帯で、その中心地は極東鐵道沿線のモゴチヤで年平均一、三〇〇庄の産金を得てゐる。トラスト管下企業は四箇の鑛山局を有する。

2、アムールソト……ゼーヤ河上流一帯よりレムシヤ河の上流、ブレイヤ河流域、トイダ河附近よりアムール河と薩太人自治州の境界に至る廣大な地域で十六箇の鑛山局を有してゐる。産金は年平均八庄と見られてゐる。

3、プリモルゾト……帝政時代の所謂「沿海州産金地」と言はれた領域で、沿海州、ウスリイ州、ハバロフスタ州、ビロビチヤン州、ニジネ・アムール州の砂金山産で、管轄鑛山局は十五箇所に達してゐる。

探査高は平均五層前後である。

4、コルイマ産金地(クリスロイ・トラスト)……コルイマ地方は西はヤタート共和国、東はオホツク海に臨む六〇萬平方呎の地域でコルイマ河流域の砂金開發のため一九三一年ダリストロイ・トラスト(極東建設トラスト)が創設され、大々的に機械化探査が行はれその産金最も莫大で一九三七年は北米アラスカ産金よりも多かつたと報ぜられてゐる。推定産金高は

一九三三年	五〇〇
一九三四年	二〇〇〇
一九三五年	五〇〇〇
一九三六年	八〇〇〇

(單位 庄)

と計上状態で、その將來性は注目されてゐる。

5、ヤタートソト……ヤタート共和国の金鑛業で主としてアルダン河系の砂金採取に従事してゐるが、年産産金は一五乃至二五と見られてゐる。將來機械化の進展と共に探査高は増加すべく、現在砂金含有率は砂一立方呎につき〇・六二と云はれてゐる。

6、レンゾト……イルケツクの北東隅、レナ河とその支流グイテム河、オレタマ河支流のチヤラ河に開かれた約百萬平方呎の地域で有名なボダイボ産金地の管轄をなしてゐる。

7、バルグジンソト……ブライヤート蒙古共和国における探査事業でバルグジン河、グイテム河流域の砂金採取が主である。

8、ザバイカルソト……管轄範圍は不明であるがザバイカル河東の地にして上述の各トラストを除いた領域のものを含括してゐると見て幾支なく現在六層産金を有してゐる。

9、バレーコンビナート……カチコウオ、ベシニコウ、アプレルコウオ及びバレー産金の四つとな

極東林業の現況

概況 第二次五箇年計畫以來工業基地が東漸し來り、これに伴ふ建設材としての木材の需要も漸増し來り、極東方面の林業も重大視されるに至つてゐる。即ち第三次五箇年計畫における重工業所管のソ聯各地區木材造成百分率は

一九三六年	一九三七年	一九四二年
タイプイシエフ地方	一六・六	一八・四
西部地方、カリニ	一七・七	一八・九
歐羅巴地方	一七・七	一八・九
ウラル地方	一七・七	一八・九
西部シベリヤ、カザ	一七・七	一八・九
タスタン地方	一七・七	一八・九
タラスノヤルカ、	一七・七	一八・九
東部シベリヤ(ヤタ	一七・七	一八・九
ツク)地方	一七・七	一八・九
極東地方	一七・七	一八・九
となつてゐる。極東地方の森林面積は全面積の殆んど四分の三を占める廣大なものでその内容は		

更に東部シベリヤ地方は立木面積一〇四、七〇一千陌に達してゐる。然し乍ら莫大な森林資源も、交通及び氣候條件の不利よりして容易に開發出來ず、伐材成績は不振つゞきである。一九三一年以來の極東地方の造材高は

有用木材(千立方呎)	積(千立方呎)
一九三一年	一、六四〇
一九三二年	三、七六〇
一九三三年	三、八五〇
一九三四年	四、七〇〇
一九三五年	九、五二〇(計畫)
一九三六年	一、五〇〇(用材材材を含む計畫)
一九三七年	一、五〇〇(同)

となつてゐる。尙ほ地方消費は右表に含まれてゐない。

次に東部シベリヤ地方の數字は次の如くなつてゐる。(單位千立方呎)

一九三二年	用材	計
一九三三年	一、五〇〇	一、五〇〇
一九三四年	一、五〇〇	一、五〇〇
一九三五年	一、五〇〇	一、五〇〇
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇
一九三七年	一、五〇〇	一、五〇〇

全面的に造材計畫が不振をつけてゐる。これは一九三八年第一四半期の成績にも明瞭で、一九三八年三月十日現在の極東地方の各トラスト木材造成報告はハバロフスタ

極東ソ聯の現況——極東鐵道の現況

ス、ダリレス、アムールスタレス、ダリトランスレスにおいて計畫課題に對し伐材六八・二%、輸出六一・三%に過ぎず、又東部シベリヤ地方ではウオストシブレ、ウオストシブトランスレスで前者が二八・六%、後者が三二・五%の發行率に過ぎない。

尙ほ最近の極東ソ聯の製材高は極東地方は一九三六年度八九二千立方呎、東部シベリヤ地方は一九三六年七〇六千立方呎(計畫)となつてゐる。

極東鐵道の現況

概況 極東ソ聯における鐵道は一九三二年以來の極東方面の軍備強化の主要目標となつたもので、歐羅巴方面よりの輸送力の増大を目標に新線或は複線工事がつゞけられ現在では極めて優秀な鐵道となつてゐる。

1、極東鐵道(延長營業料一、六三五)

ウオロシロフ・ボグラーニチナヤ	一、二一〇
ウオロシロフ・ワリロフ	一、二二三
ウオロシロフ・ワリロフ	一、二四一
ウオロシロフ・ワリロフ	一、二七一

2、アムール鐵道(延長營業料一、四九八)

アルハラーク・セニエフスカヤ	一、二八三
ブレイヤライチハ	四三
タイプイシエフ・カール・ゴベシチエフスカ	一〇八

つてをり、その生産高は山金二層前後、砂金二層、計四層内外で、ザバイカル最大のものである。

10、ダラスノコンビナート……モロトフ鐵道のシルカ脚より西北方七五呎の地點にあり最近の探査高は年一・五層内外と見られてゐる。

その内最も重大意義をもつものはウオロチヤエフ・カール・モリスカの新線である。本鐵道は一九三六年秋完成し假營業中であつたが、一九三九年末には本營業に移る筈である。終點コムソモリスカはアムール。

極東ソ聯の現況——極東軍備の現状

〔註〕この極東軍備は従来五年前の一九三四年度には十六億六千九百萬に過ぎず従つて五年間に二十五倍といふ驚くべき膨張を遂げたことになり今最も益々増大傾向を見せることは明らかである。

かくして増強されるソ聯の現有軍事勢力更に極東軍兵力は果してどの程度に達してゐるか……一九三九年六月歐洲方面で觀測された最も確實な資料から見れば

た。時あたかもトハチエフスキー事件の後をうけてソ聯赤軍内には肅軍の嵐が吹きすさび大規模の刷新が行はれてゐた折柄としてブリュッヘルから獨裁権を奪つた會議制の適用は各方面から種々な觀測がなされ或ひはブリュッヘルの獨立能力を高めることを憂慮したスターリンの意向だと管はれ、また彼に反スターリン的傾向乃至は反中央的態度が現れつゝある事實に對する案制だとも言はれてゐた。事實極東赤軍に對する肅軍の手は依然としてその手綱をゆるめられず張鼓峰事件の勃發直前まで續いたのであるが、同事件がおさまるやブリュッヘルの逮捕説と共に九月中旬突然極東軍は第一獨立赤旗軍(司令部……シオロシロフ)第二獨立赤旗軍(司令部……ハバロフスク)に二分されそれ／＼國防人民委員部直轄の兵團に改變された。更にノモンハン事件の停戦前後にモスクワから報道された處によればソ聯政府では極東戰略の變更を企圖し全軍

作戰の中心部たる最高司令部をチタに置くことに決定したと言はれ各方面の關心を牽いた。

- 極東軍備の現状
第一獨立赤旗軍
第二獨立赤旗軍
第三獨立赤旗軍
第四獨立赤旗軍
第五獨立赤旗軍
第六獨立赤旗軍
第七獨立赤旗軍
第八獨立赤旗軍
第九獨立赤旗軍
第十獨立赤旗軍
第十一獨立赤旗軍
第十二獨立赤旗軍
第十三獨立赤旗軍
第十四獨立赤旗軍
第十五獨立赤旗軍
第十六獨立赤旗軍
第十七獨立赤旗軍
第十八獨立赤旗軍
第十九獨立赤旗軍
第二十獨立赤旗軍
第二十一獨立赤旗軍
第二十二獨立赤旗軍
第二十三獨立赤旗軍
第二十四獨立赤旗軍
第二十五獨立赤旗軍
第二十六獨立赤旗軍
第二十七獨立赤旗軍
第二十八獨立赤旗軍
第二十九獨立赤旗軍
第三十獨立赤旗軍
第三十一獨立赤旗軍
第三十二獨立赤旗軍
第三十三獨立赤旗軍
第三十四獨立赤旗軍
第三十五獨立赤旗軍
第三十六獨立赤旗軍
第三十七獨立赤旗軍
第三十八獨立赤旗軍
第三十九獨立赤旗軍
第四十獨立赤旗軍
第四十一獨立赤旗軍
第四十二獨立赤旗軍
第四十三獨立赤旗軍
第四十四獨立赤旗軍
第四十五獨立赤旗軍
第四十六獨立赤旗軍
第四十七獨立赤旗軍
第四十八獨立赤旗軍
第四十九獨立赤旗軍
第五十獨立赤旗軍
第五十一獨立赤旗軍
第五十二獨立赤旗軍
第五十三獨立赤旗軍
第五十四獨立赤旗軍
第五十五獨立赤旗軍
第五十六獨立赤旗軍
第五十七獨立赤旗軍
第五十八獨立赤旗軍
第五十九獨立赤旗軍
第六十獨立赤旗軍
第六十一獨立赤旗軍
第六十二獨立赤旗軍
第六十三獨立赤旗軍
第六十四獨立赤旗軍
第六十五獨立赤旗軍
第六十六獨立赤旗軍
第六十七獨立赤旗軍
第六十八獨立赤旗軍
第六十九獨立赤旗軍
第七十獨立赤旗軍
第七十一獨立赤旗軍
第七十二獨立赤旗軍
第七十三獨立赤旗軍
第七十四獨立赤旗軍
第七十五獨立赤旗軍
第七十六獨立赤旗軍
第七十七獨立赤旗軍
第七十八獨立赤旗軍
第七十九獨立赤旗軍
第八十獨立赤旗軍
第八十一獨立赤旗軍
第八十二獨立赤旗軍
第八十三獨立赤旗軍
第八十四獨立赤旗軍
第八十五獨立赤旗軍
第八十六獨立赤旗軍
第八十七獨立赤旗軍
第八十八獨立赤旗軍
第八十九獨立赤旗軍
第九十獨立赤旗軍
第九十一獨立赤旗軍
第九十二獨立赤旗軍
第九十三獨立赤旗軍
第九十四獨立赤旗軍
第九十五獨立赤旗軍
第九十六獨立赤旗軍
第九十七獨立赤旗軍
第九十八獨立赤旗軍
第九十九獨立赤旗軍
第一百獨立赤旗軍

極東ソ聯の現況——極東軍備の現状
第三十四 第三百二
第三十三 第三百一
第三十二 第三百〇
第三十一 第二百九十九
第三十 第二百九十八
第二十九 第二百九十七
第二十八 第二百九十六
第二十七 第二百九十五
第二十六 第二百九十四
第二十五 第二百九十三
第二十四 第二百九十二
第二十三 第二百九十一
第二十二 二百九十
第二十一 二百八十九
第二十 二百八十八
第十九 二百八十七
第十八 二百八十六
第十七 二百八十五
第十六 二百八十四
第十五 二百八十三
第十四 二百八十二
第十三 二百八十一
第十二 二百八十
第十一 二百七十九
第十 二百七十八
第九 二百七十七
第八 二百七十六
第七 二百七十五
第六 二百七十四
第五 二百七十三
第四 二百七十二
第三 二百七十一
第二 二百七十
第一 二百六十九

この他約二萬を算するエヌ・カ・ヴェ・デ(内務人民委員部)が各地に配備されてゐる

が特にソ聯赤軍で目覺しい發達を示してゐるのは裝備の近代化に伴ふ軍自體の機械化で、これは五箇年計畫の進捗に依る重工業

の發達と緊密に結びつき今後も發展して行くことが豫想される。毒ガス、細菌等化學戰部門に於ても相當研究されてゐる様だが適確には知るを得ない。

トーチカ 極東赤軍を語る上に忘れられないものは滿洲國境地の武裝化—軍事コルホズの培養特にトーチカの構築である。國境地のトーチカ陣地は一九三一年から建設に着手して一九三三年には大體完成を見たが、最初は極く簡單なものが漸次大掛かりとなり機關銃、野砲、高射砲を備へ距離測定用テレスコープなど裝備したのもあり、防衛設備も施されてゐる。構造は方形六角形、圓形、八角形さらに地形によつて鉤形のものもあり各トーチカは地下道によつて他のトーチカと聯絡を維持し骨とペトンから出來た非常な堅牢なものである。このトーチカが果してどれだけの實戰効果を持つか疑問とされ特に戰車等の攻撃に對する抵抗力は未知數であるが、ソ聯側ではトーチカの射距離に達した敵兵は第一齊射によりその九〇%を倒し得ると豪語してゐる。現在滿洲國境に構築されてゐるトーチカの数は千二百と言はれた約二千とも言はれるが配置は大體黒龍江、ウスリー江の兩河を挟む第一陣、ハバロフスタを中心とする第二陣、ブラゴウエシチエンスクを中心とする第三陣、

心とする第三陣、更に滿洲里からモロトフ鐵道を挟みチタに續く第四陣でノモンハン事件を契機としてまた新トーチカ構築工事を開始したと言はれてゐる。

極東空軍 國民生活を犠牲にしてでもソ聯當局がその完成充實を急いで來たのは赤色空軍の建設であつた。ノモンハン事件に於ては我が空軍の猛撃に擊墜機實に千餘機といふ慘敗記録を示しその劣弱性は全世界の注視を蒙つたが、それだけでソ聯全體の空軍力が取るに足らぬと一笑に附し輕視する譯には行かない。特に極東空軍力に對して見る場合は今更に於て所謂東西兩國境に對峙する極東第一、第二軍管内からは滿蒙國境へ一臺の飛行機も送つてをらず、遠くザバイカル軍管區シベリヤ、ウラル方面より擊墜機の補給を行つてゐたもので極東現有空軍力は依然二千機を保持してゐる現状にある。國防人民委員ダオロシロフも第十八回共産黨大會に於て特にこれが擴張と性能の向上を強調し日本を始め世界強國の空軍力を引用してその優秀性を豪語してゐる點は關心に値しやう。機別黨數等資料不足のため不明であるが右大會に於けるダオロシロフの報告内容から察するにソ聯空軍總兵力二萬二千として重爆機はその二〇・六%の二千四百機、輕爆機は

二六・〇%の三千百餘機、戰闘機は三〇・〇%の三千六百機、その他偵察機、驅逐機等二三・四%の二千八百機見當と見られ、極東配備比率も大體右標準によるものと思はれる。更にこれが機種別性能を示せば(一九三九年現在)

名	馬力	時速(時)
RRR	四五〇	二二五
RRR	六八〇	二七〇
RRR	二、六〇〇	三〇〇
RRR	六〇〇	三五五
RRR	六〇〇	三六〇
RRR	六〇〇	四八〇
RRR	七六〇	四九〇
RRR	四、六八〇	三〇〇
RRR	四、九五〇	三〇〇
RRR	五、四八〇	二二〇
RRR	二、七五〇	三五〇
RRR	二、八五〇	三六〇
RRR	四、〇〇〇	四〇〇
RRR	六八〇	二四〇
RRR	六八〇	二二五
RRR	二、六八〇	二二八

この他水上機にはハインケルHD-15型、魚形水雷機、潜水機等がある。

極東空軍の根據地としてはこれを大體沿海地方、極東中樞地帯たるハバロフスタ地方、中部アムール地方、ザバイカル地方の四つに分け得るが、各々その所在地を挙げれば、

- 沿海地方……ウラチオ、ニコラスタ、シヌオトヴオ、スバスタ
- ハバロフスタ地方……ハバロフスタ、ミハイロフカ
- 中部アムール地方……ニカチリノスラフカ、ボチカレ
- ザバイカル地方……チタ、キルチンスタ、モグソン、ヒロゲ、ゲウリヤ等

ソ聯空軍を語る上に落せない存在はオソアダイアヒム(國防飛行化學協會)と空中降下部隊(デサント)である。空中降下部隊はパラシュート部隊とも言はれソ聯赤軍が獨特の新工夫をこらした戰術部門で數十人乗りの大型飛行機に武裝せるパラシュート降員を満載し數十機編隊で敵の第一線後方上空に於て一齊降下を行ひ奇襲戰術に出やうとするもので曾て一九三五年のキエフ大演習、三六年のミンスタ大演習では大規模のデサント演習を行ひ戰闘員のみならず兵器彈藥類の降下に成功したことがあり最近この部門の研究はその戰術的價値と併行しますます盛んに行はれてゐる模様である。更にこのデサント戰術並に航空思想の民間普及機關として存在するのがオソアダイアヒム

ムで既にソ聯全土に亘り二十萬以上の會員を有し各地にパラシュート塔を設立して降下練習を行ひ、飛行操縦士養成の有力なアールとして重要な役割を果してゐる。

極東海軍 陸・空軍の建設に對し比較的等閑視されて來たのは赤色海軍の再建であつた。先づ赤色政權の基礎補強を必要としたソ聯では空陸兩軍の整備増強に重點を置いたことは領土の廣大なるに比し比較的短かい海岸線を持つに過ぎぬといふ地理的條件もあつたが近代戰術に於ける海岸線確保の重要性と第一次五箇年計畫により重工業の基礎が定まり建艦能力への見通しが出來るに及んで第二次五箇年計畫に入るや俄然積極的建艦方針に向ふに至つた。一九三八年七月(第三次五箇年計畫第一年度)ソ聯邦最高會議幹部會議長カリニンもオルヂョニキーゼ海軍工廠に於て行つた演説の中でこの大海軍案を力説してゐる。

「……ソ聯の技術、技術家及び労働者は全階級を擧げて積極的に赤色海軍を建設する目的の下に赤色海軍建設に邁進せねばならぬ。英國は世界最強の資本主義國家であるかも知れぬが、ソ聯は世界最強の社會主義國家である。ソウエト政府は既に大海軍の建設計畫を決定したが、この際特に必要なのは諸君の獻身的努力である」

た國防人民委員部から海軍人民委員部を分離獨立せしめ引續き一九三九年一月には國防工業人民委員部より造船工業人民委員部を獨立し、建艦への積極的意圖實現へ乗り出したのである。ソ聯の現有海軍勢力も秘密方針の結果資料に乏しく正確には知るを得ず、特に最近竣工乃至建造中のものは不明であるが大體次の様な状況と見られる。

主力艦……戰艦四隻二萬三千噸速力二十三節同級のものが何れも革命前建造のものを改裝したに過ぎない。これに對し新造計畫としては三萬五千噸級のものを一隻を米國に發注せしむるに同意し國內に於て建造中と言はれてゐるが既に竣工を見たと見られる。

巡洋艦……甲級巡洋艦として一九三八年過水のキーロフ號(一、〇〇〇噸)他七千五百噸級一隻がありキーロフ級同型のものを目下建造中、更に乙級には帝政時代の建造にかゝる六千八百噸級のものと四隻と五千噸級四隻が最近過水の模様で他に七千六百噸級の新造巡洋艦一隻を有してゐる。

航空母艦……大戦當時の未成巡洋艦を改裝した「紫色水兵」號(七、六〇〇噸)に一九三八年過水のダオロシロフ號(一、五〇〇噸)がある。

驅逐艦……二千六百噸級最新式驅逐艦二隻、千三百噸級六隻、千二百噸級七隻、千噸級一隻、五百八十噸級九隻、四百噸級四隻その他。

潜水艦……ソ聯が重視する小艇艇首體系の採用と共に特に潜水艦の建造には最大體能力が注がれてゐる様で一九三五年竣工のガリバルディエツツ號(排水

極東ソ聯の現況——極東軍備の現況

極東に於て廣大な海岸線を持ち日ソ漁業問題その他領土紛争事件により日ソ關係に備へソ聯は右海軍中隊でも特に太平洋艦隊の擴充に熱狂して来たのである。その結果滿洲事變前までは僅かに老朽な海防艦三・四隻に過ぎなかつたものが最近では米國往復可能な航線力一萬噸以上の艦艇を補充し特に潜水艦を以てその基本的艦隊編制とする關係上優秀潜水艦を増強コムソモリススタ造船所を始め各地造船所に於て外國の新機式を採り入れた潜水艦を建造して外國へまで發注してゐる様な現況にある。

- 1、太平洋海軍
- 2、バルチック海軍
- 3、黒海海軍
- 4、北氷洋海軍

極東に於て廣大な海岸線を持ち日ソ漁業問題その他領土紛争事件により日ソ關係に備へソ聯は右海軍中隊でも特に太平洋艦隊の擴充に熱狂して来たのである。その結果滿洲事變前までは僅かに老朽な海防艦三・四隻に過ぎなかつたものが最近では米國往復可能な航線力一萬噸以上の艦艇を補充し特に潜水艦を以てその基本的艦隊編制とする關係上優秀潜水艦を増強コムソモリススタ造船所を始め各地造船所に於て外國の新機式を採り入れた潜水艦を建造して外國へまで發注してゐる様な現況にある。

はれ艦隊は編成の既には四艦隊の持つ重戦艦大なるものがある。

太平洋海軍に屬するものとして黒龍江(阿穆爾)河川艦隊があり滿洲國境河川たるアムール江、ウスリー江を上下して頗々と諸國を侵犯不法行為を繰返し國境紛争の原因を醸成してゐる。この他沿海地方沿岸、國境河川の主要地には夫々水上飛行機根據地があるが、極東ソ聯の軍港並に海軍根據地はウラヂオ、ニコラエフスタ、ボセツト、スラヴィヤノカ、アメリカカ、オリガ、ソウエト、アレクサンドロフスタ等にあり今後も益々増設されるものと見られてゐる。かくの如く増強擴張の一途にある極東海軍現有勢力も正確な數字は不明だが大體一般に觀測されてゐる處を次に示せば

潜水艦	一	海防艦	六〇五
水雷艦	七〇	水雷艦	六〇
水雷艇	七〇	水雷艇	三〇
水上飛行機	數百		
水上艦隊	八	水上艦隊	三〇
水上飛行機	一〇	水上艦隊	二

北氷洋開發の軍事的意義 北氷洋征服の歴史は遠く十六世紀に端を発してゐるが幾度か企てられた探險隊もその都度失敗に終

り僅かにこの部分的航路のみに終つてゐるが一九三二年夏ソ聯砕氷船シビリアコフ號は遂に白海からシベリアの北岸を航行しベリリング海峡を経てカムチャツカ半島から極東ウラヂオに至る航路二萬軒に達する北氷洋大航路の開發に成功更に三三年にはチエリウスキンの壯舉がこれに確固たる基礎を與へる結果となり三五年には一級船の就航を見るに至つた。政府では現在北氷洋航路總局を設置し、これが本格的開發工作(港灣施設、大型砕氷船の建造その他)を行つてを一九四二年度までには定期航路を開く豫定だと明言してゐるが、これが軍事的意義もまた實に重大なもので從來歐羅巴のバルチック海と極東を結ぶ水路はスエズ運河、印度洋を經由したが、この北氷洋航路はその距離を三分の一に短縮し加ふるにソ聯艦隊は幾多の國際法規の制約を蒙るべき外國の領海を通過せず、自國の領海内に於て歐羅巴—極東水路を結び得た點は今後の極東海上作戦に大變化を招来するものと注目される。果せる故政府では一九三九年當初に從來五區から成つた海軍區(太平洋、バルチック、黒海、白海、裏海)を四區に改め極東に關しては太平洋艦隊と北氷洋艦隊の設置を見た。この改編により白海方面のみに限られた北氷洋海軍力は新

に北氷洋海軍區として直接太平洋海軍區と握手する結果となつたのである。日下同航路は夏期に限られてをり、一朝有事の際に於ける軍事的効果は全然未知數だが第三次五箇年計畫は更にこの難局打破のため甚大な開發豫算を決定してゐるのである。

國民兵役義務法

ソ聯が赤軍のより高度なる戰時體制化として一九三九年九月早々發表した國民兵役義務法は當時歐洲並に極東方面に於てソ聯が置かれてゐた複雑な對外國關係上から見て各方面の注視を牽くところとなつた。この新法令は要するに赤軍の量質兩方面からの急テンボなる増強と會つてトチエフスキー元帥等の反スターリン軍部派の一端によりソ聯赤軍の一大缺陷とされてゐた統帥關係の人的質的劣勢の建て直しを圖らんとしたもので一九三六年規定の現行兵役法を根本的に改革修正したものである。その改正の要點は

- 1、現役兵數の増加
- 2、下級指揮官の増大
- 3、中隊、高級指揮官の若返り
- 4、赤軍機械化技術の高度化

改正の核心とも見らるべき現役兵數の増加に對する改正内容を簡単に書けば召集年齡を普通教育を受けたものは滿十九歳八箇月より二十歳八箇月までのもの、中等學校

極東ソ聯の現況——ソ聯重要日誌

ソ聯重要日誌

(自一九三八年十月一—一九三九年九月)

に於ては教育中のものは十八歳八箇月より十九歳八箇月、同教育終了のものは十七歳八箇月より十八歳八箇月としてゐる。従つて普通教育のものにあつては一箇年、中等學校卒業者にあつては二箇年召集年齡が繰上げられた譯で一方兵役年限は陸軍一級兵士は二箇年、下士並に下級將校(少尉級)は三箇年、航空兵及び下士、下級將校は三箇年、沿海防備兵及び下士、下級將校は四箇年、海軍兵及び下士、下級將校は五箇年、對內的軍隊(民衆)兵二箇年、下士並に下級將校三箇年、陸軍國境警備兵並に下士、下級將校四箇年となつてをり陸海空軍全面に亘る下士官及び下級指揮官の大量養成に本法令の重點が置かれてゐる。尙ほ本法令の實施により新に増加される兵力は百萬以上に及ぶと見られてゐる。

三日 チューバリの失脚によりブルガニンが新にソ聯邦人民委員會副議長兼國立銀行總裁に就任マソ聯邦保健人民委員部規程及び官制發布マズエルドロフスタ州を分劃新たにベルミ州設置さる。

- 四日 ソマホズ従事員の家庭私有制限令發布△國防工業の品質改善策發布さる。
- 七日 極東地方黨執行委員會議長ウオリスキーその他多數黨官の肅清發表さる△國有住宅施設の義務保險制度決定(一九三九年一月一日より實施)
- 九日 極東に總動員實施さる。
- 二十日 太平洋赤色艦隊の演習終了マソ聯東地方沿海地方とハバロフスタ地方に分割さる。
- 二十一日 社會保險會議規定の改正及び同代表委員規定制定さる。
- 二十二日 クズバスその他諸炭田の業態改善に關し黨、政府、重工業人民委員の指令發布さる。
- 二十三日 農業生産に關係なき工業企業の取締を目的にコルホズの非合法的企業取締令發布さるマ金、白金工業取引税免除さる。
- 二十五日 コムソモール(青年共産同盟)創立二十周年△張鼓峰事件の論功行賞決定受賞者六千五百餘名に及ぶ。
- 二十六日 ソ聯南東草薺地帯に於ける高度收穫確保規定發布さる。
- 二十七日 モスクワ藝術座四十周年。
- 二十八日 一九三九年度經濟契約締結に關する重工業人民委員部令發布さる。

二十九日 モスクワ—支那間を結ぶ無線電話の試験通話に成功。
三十日 ルイゾフの罷免によりアンツエロウイチ木村工業人民委員に就任。

十一月

一日 モスクワ—ウラヂオ間の定期航空路開始。
七日 スミルノフの罷免によりフリノフスキー海軍人民委員に就任△極東の主要各都市で阅兵式舉行。
十一日 日ソ漁業問題に關する東郷・リトウイノフ會談開かる△瀾地トラクター用ガス發生器を完成。
十二日 モスクワ—キエフ間快速飛行便開始。
十五日 木材調査局勤務のホルホズ員に對する農業税は免除と決定△新共産黨史の宣傳綱領發表。
二十三日 コムソモール首腦部コサレフその他多數の職務發表。
二十六日 ウラン・ウデーモスクワ間に長距離電話開通。
二十七日 ソ波兩國不可侵條約を再確認す。

十二月

一日 チウヤイトレフの罷免によりニコ

ヤン外國貿易人民委員に就任。
五日 現金收入の配分に關し農業アルテリ定款の一部改正さる△全聯邦微生物學者、傳染病學者大會開かる。
八日 エヂョフの罷免によりベリヤ内務人民委員に就任△極北地方の冬期飛行開始。
十日 邊境地方に於ける國勢調査開始。
十二日 エルキンの罷免によりロバノフがソフホズ人民委員に就任。
十五日 太平洋赤色艦隊政治部員會議をウラヂオにて開かる。
十六日 エイへの罷免によりベネヂクトフ農務人民委員に就任。
十九日 獨ソ通商協定は一九三九年度に延長と決定。
二十日 國民納稅申告の實施を決定マソ波兩國通商條約に關し決定さる△貯金局に於ける國民貯金額約六十億留に達す△極東軍法會議長にA・A・コワレフ就任。
二十一日 労働手帳制度制定され一九三九年一月十五日より實施と決定△食品工業年度計畫を超過遂行す。
二十二日 ウオルガ左岸地方の灌溉計畫樹立さる。
二十三日 日ソ漁業問題に關し東郷・リ

トウイノフ第八次會談も意見一致を見ず年内解決は絶望となる。
二十四日 浦鹽コムソモール都市會議終了。
二十七日 オレンブルグ州及び同市をチカロフ州及び同市に改稱さる△新に「社會主義労働の英雄」なる稱號を制定す。
二十九日 労働規律振興令に關する黨、政府、労働組合の共同決定を發布す。

一月

二日 輕工業人民委員部を織維工業人民委員部と輕工業人民委員部に分割され、織維工業人委にはA・N・カレイギン輕工業人委にはN・G・ルーキン任命さる。
三日 陸海軍宣言に關する決定を布告す。
四日 ニジネ・アムール州黨委員會總會議開かる。
九日 全ソ労働組合中央評議會幹部會議開かる。
十日 四日間に亘り全聯邦水上運輸從業員アグチブ會議開他、關係出席者千名以上にのぼるマウクライナ共和國にスムスカ州(中央都市スムスィイ市)キロウオグライドスカ州(中央都市キロウオグライド市)ザボロジンスカ州(中央都市ザボロジ

エ市)の三州新設さる。

十一日 國防工業人民委員部を航空工業造船工業、彈藥製造、武器製造の四人民委員部に分割各人民委員を任命す(航空工業……M・M・カガノウイチ、造船工業……I・T・テヂオシヤン、彈藥製造……I・P・セルゲイエフ、武器製造……B・L・ワニニコフ)マソ聯エストラ通商協定效力延長さる。
十三日 機械トラクター・ステエシヨシ(M・T・S)の作業改善並に強化に關する規定を布告さる。
十四日 一九三八年度の貯金増加高十五億三千六百萬留と發表さる。
十六日 労働規律に關する機械製作工業人民委員部令布告さる。
十七日 第三次國勢調査施行さる△モスクワ—イルクーツク間に電送線開通開始さる。
十九日 食品工業人民委員部を漁業、肉類酪乳工業、食品工業の三人民委員部に分割各人民委員を任命さる(漁業……P・S・ジエムチエーリナ、肉類酪乳工業……P・V・スミルノフ、食品工業……V・P・ゾートフ)。
二十日 全聯邦共産黨ハバロフスク州委員會開會開始さる。
二十一日 ウズベク共和國農業關係功勞

者三百十五名に對しレニニ勳章、労働赤旗勳章を授與す。

二十四日 重工業人民委員部を燃料工業發電所電氣工業、黑色冶金工業、有色冶金工業、化學工業、建築材料工業の六人民委員部に分割各人民委員を任命さる(燃料工業……L・M・カガノウイチ、發電所電氣工業……M・G・ベルウヒン、黑色冶金工業……F・A・メルタロフ、有色冶金工業……A・I・サモフワロフ、化學工業……M・F・デニソフ、建築材料工業……L・A・ソースニン)。
二十八日 ソ聯邦學士院では總會を開會新會員を選出す。

二月

一日 映畫、戲園ボチヨムキンその他監督として有名なエイゼンシュテインほか九十六名の映畫監督、シナリオ作家に對し叙勳行はる△モスクワ市第五回コムソモール會議開かる△ハバロフスク鐵道大學建設工事開始さる。
四日 タンボフ州をベンザ州(中央都市ベンザ市)タンボフ州(中央都市タンボフ市)の二州に分割さる△ウランウデーキヤフタ間(二百四十七軒)鐵道開通す。
五日 コルホーズの會計簿記に關する新規定を發表、略式單式複式の三種式の簿

記法採用に決定す△機械製作工業人民委員部を重機械製作工業、中型機械製作工業、一般機械製作工業の三人民委員部に分割し各人民委員を任命(重機械製作工業……V・A・マルイシエフ、中型機械製作工業……I・A・リハチヨフ、一般機械製作工業……P・I・バルシシ)。
六日 カザン—ブグリマ間鐵道(三百五十軒)新設計畫發表さる。
七日 ウズベク共和國農業關係功勞の叙勳に次ぎウクライナ共和國農業關係功勞者千五百六十六名に對し大量叙勳を行ふ。
十日 昨年度コルホズ預金高二十五億留に達する二日發表さる。
十一日 ソ聯ラトヴィヤ通商協定調印さる△第一回ハバロフスク共産青年同盟地方會議開かる。
十四日 ソ聯リスアニヤ通商協定調印さる。
十五日 カザフ共和國農業關係功勞者の叙勳行はる。
十六日 レーニン未亡人クルブスカヤ女史死去享年七十歳△沿海地方、ハバロフスク地方共産黨會議開會さる。
十七日 来る八月一日より開會される全ソ聯農業博覽會に關する政府及び黨中央委員會の決定發表さる。

極東ソ聯の現況——ソ聯重要日誌

十九日 ソ波通商條約調印さる。
 二十日 ハバロフスクに大漁業コンビナート建設さる。
 二十三日 赤色陸海軍創立二十一周年記念日を期し全赤軍の宣誓式を舉行さる。
 二十五日 國立銀行は外貨對留換算率を發表。
 二十八日 白ロシア共和國農業關係功勞者の叙勳行はる。

〇三 月

六日 モスクワ—アムステルダム、モスクワ—カプーブル間に無電線新設さる。
 十日 シュニツト博士ソ聯邦學士院院長に任命され北洋航路總局長後任にはバリーニンが就任す△十日より二十一日に亘り第十八回全聯邦共產黨大會開催大會の議事日程は(1)黨中央委員會報告……ウラヂミールシム中央検査委員會報告……ウラヂミールスキー△コミンテルン執行委員會に於ける黨代表の報告……マヌイルスキー、ソ聯國民經濟發展第三次五箇年計劃……モロトフ、3、黨規改正……ジダーノフ、4、黨綱改正委員會選舉、5、黨中央諸機關の選舉)
 十三日 大學、高等專門學校入學規定改

正さる。

二十二日 黨大會開催後最初のソ聯邦共產黨中央委員會總會を開き政治局、書記局組織のメンバーを選出す。
 二十五日 レニングラードに於て電氣機械製作工業労働組合中央委員會第四回總會開かる。
 二十六日 第三次國勢調査の暫定結果發表それによればソ聯全人口は一億七千二百萬六千人で一九二六年十二月の第二次調査當時に比し二千三百十萬人の増加を示す。

〇四 月

二日 ソ漁業條約の第四回效力延長に關する議定書成る。
 四日 四、五日の兩日キエフ特別軍管區黨アクトヴィスト會議開かる。
 七日 七日から十三日に亘り全聯邦コムソール中央委員會第八回總會開かる。
 八日 機械製作關係三人民委員の共同命令を以て機械製作工場企業研究所の分割行はる。
 九日 ソ聯邦水運人民委員部を海上運輸、河川運輸の兩人民委員部に分割し各人民委員を任命す(海上運輸……S.S.ドゥケリスキー、河川運輸……J.A.シャシコフ)
 十三日 ハバロフスク共產黨アクトヴィ

スト會議開かる。

二十二日 全聯邦労働組合中央評議會第八回總會一週間に亘つて開かる△全聯邦共產黨中央委員會總會開催さる。
 二十九日 太平洋艦隊司令長官クズネツォフ海軍人民委員に任命さる(後任には前黑海艦隊司令長官エマシエフ就任す)

〇五 月

一日 メーデー(モスクワの参加人數百八十萬、飛行機六百架と報ず)△オソアグイアヒム(國防飛行化學協會)全聯邦第十三回彩票を發賣さる。
 四日 M.M.リトヴィノフの罷免を發表同時にV.モロトフ人民委員會議長の外務人民委員兼務任命さる△全國農村教員功勞者の叙勳行はる。
 五日 北極飛行成功。
 十日 レーニングラード—オデッサ間快速航空郵便開始さる。
 十一日 ノモンハン事件勃發すM.M.D.ベルマンの罷免によりI.T.ベレスイバシがソ聯邦通信人民委員に就任す。
 十六日 一九三〇年八月十三日付法令を變更、勞農海軍現役期間延長さる。
 十七日 モスクワ—ミンスク間の新航空路開設さる△モスクワ—アシハバド間

の新航空線開始さる。

二十一日 モスクワ—ブリヤンスク(二百六十五軒)間電線工事開始さる。
 二十五日 三十一日に至る一週間に亘り第三回最高ソウエート會議をタレムリンに開催△ソ聯人民委員部所屬最高學府委員會の提議並にノウオシビルスク州黨委員會の決定によりシベリヤ資源開發會議(期間十日)開かる△ソ聯列車運行ダイヤ改正。
 二十六日 ハバロフスク地方のハバロフスタ州は廢止されその所屬地域は地方組織に直屬と決定。△一九三九年ソ聯國家豫算發表さる(歳入……一五六、〇九七、八二九、〇〇〇留、歳出……一五五、四四七、八二九、〇〇〇留)

布さる。

二十九日 一九三九年度ソ聯國家豫算法建築人民委員部(第一人民委員部)の設置及び共和國自動車運輸人民委員部設置に關する法令發表さる△モスクワ—ハバロフスク間直通電話の第一回通話試験行はる。

〇六 月

五日 沿海地方の沿海州は廢止され同州所屬の地域は地方組織に直屬と決定。
 極東ソ聯の現況——ソ聯重要日誌

八日 北洋出漁の日魯漁業船に對し査閲を拒否す。
 九日 プロフィンテルン書記長S.A.ロフフスキーは外務次官に任命さる。
 十日 十日、十一日の兩日に亘り聯邦農務人民委員部指導者會議開かる。
 十五日 加盟各共和國に地方燃料工業人民委員部設置さる△ソ聯邦人民委員會附屬經濟會議書記M.D.フロモフは人民委員會書記官長に任命さる。
 十六日 S.J.ギンズブルグは建築人民委員に任命さる△ソ波通商條約調印さる
 二十四日 聯邦農務人民委員部參與會議開かる。

〇七 月

一日 北樺太利權に關し東郷・ロフフスキー會談行はる(團體契約改訂問題、不法判決問題、北洋漁業不法壓迫問題)
 四日 ノモンハン事件益々擴大、ソ聯全軍司令官にジウコフ中將を任命。
 八日 歸省中の駐支ソ聯大使オレルスキー夫妻はコーカサスにて慘死す。
 十二日 ソ聯國家計畫委員會は一九三九年上半年各産業別生産統計を發表(生産總額四百五十二億三千萬留、前年同期に比し一五・二%増)

十五日 北樺太利權問題にて東郷・ロフフスキー再折衝。
 十七日 停頓状態にあつた英佛ソ三國交渉再開す。
 十八日 ソ聯艦隊十一隻パナマより大學ウラヂオに向ふ△モスクワに於て體育行進舉行、参加者六百萬人に及ぶ。
 二十日 前ブルガリヤ駐劄大使ラスコリニコフに對し銃殺刑を宣告△ソ波代表者會議開く。
 二十一日 獨ソ通商交渉再開さる。
 二十三日 北氷洋航路視察の同水路局長バリーニンはムルマンスクに到着。
 二十四日 ソ聯當局では北樺太利權に關する我が覺悟を拒否す。
 二十七日 前極東空軍副司令官ラービンはじめ極東赤軍首腦部七十九名を大量處罰
 二十八日 第一極東赤軍司令官シユテルン大將の失脚説傳へらる。
 三十日 ソ聯最高會議代表議員ホルツロフ將軍外三名モスクワ上空にて墜落慘死す。

〇八 月

一日 全ソ聯農業博覽會モスクワに開催さる。
 三日 英佛ソ三國軍事會議に對するソ聯側代表を決定發表する(ゾオロシロフ國

極東ソ聯の現況——ソ聯重要日誌

防人民委員、シヤボシニコフ參謀總長、クツネツオフ海軍人民委員、ロクチオノフ空軍長官、スモルディノフ參謀次長)

五日 米ソ通商協定の効力一箇年延長さる。

六日 張鼓峰事件一周年記念示威行事はマホルツロフ將軍の墜落後死事件に關聯しソ聯軍艦製造工場に大量檢舉行はる。

七日 露政權軍事使節團モスクワに到着。

八日 ソ聯對露借款設(總額七億)傳へらる。

十一日 北陣太石油労働團體契約の調印成る。

十二日 英佛ソ三國軍事會議モスクワに於て開催さる。

十四日 第一極東赤旗軍司令官シユテルン大將の罷免をハバロフスタ・ラヂオで發表。

十五日 ノモンハン事件に關聯しソ聯極東赤軍の大規模なる兵力移動傳へらるマ外蒙鐵道に出動中のソ聯第六師團長シヤイリフ中將の戦死判明す。

十八日 ソ支材料借款協定(一億五千萬元)の成立傳へらる。

二十日 臨時駐支通商代表兼駐支大使としてA・S・B・ニユシキンを任命マ獨ソ新

通商協定調印さる。

二十三日 獨ソ不可侵條約調印され全世界に傳撃を與ふ。

二十五日 前後二回に亘りソ聯機百三十五機蘭州に到着した旨報じらるマバナマ經由極東に回航のソ聯艦隊はウラヂオに入港す。

二十八日 獨ソ新通商協定は實施細目發表さる△二十九日に亘り獨ソ不可侵條約批准に關する第四回ソ聯最高會議を開催(同時に農業稅法案、國民皆兵法案を上げ)

三十一日 ソ聯最高會議に於て獨ソ不可侵條約批准を可決△國民皆兵法案、農業稅法案を可決△極東赤軍關係者に對する勳章授與發表さる。

〇九 月

九日 外國貿易に關する新貿易令を發布△タス通信を通じ豫備兵召集事實を公表(なほ右地域はウクライナ、白ロシア、セニングラード、モスクワ、カリニン、オレンの各軍管區に及ぶ)△黒龍江に於て滿洲國艦艇を不法拿捕。

十日 ソ聯軍艦々とソ波國境へ兵力集結。

十二日 ソ波國境より越境逃走せんとした反スターリン分子二百名を逮捕。

十四日 ポーランド分割後の獨ソ兩國間に緩衝國設置に意見一致す。

十五日 ノモンハン事件に關する日ソ停戰協定成立、共同コミュニケ發表さる。

十六日 西部ソ波國境の赤軍集結状況十六日現在に於て四百萬と稱せらる△明十七日を期しソ聯軍の波領進駐を正式通告△駐日大使館參事官コンスタンチン・ステタニンの大使昇格並に任命を正式發表す。

十七日 赤軍波領進駐開始をラヂオを通じて公表す。

十八日 早くも國境線より七十軒の建築内に侵入△國防人民委員ゴロシコフ前線へ出動△ポーランド分割に關する獨ソ停戰開始を傳へらる△對露タンチンゴト擴張説(二十億マルクより四十億マルクへ)

十九日 波占領のポーランド領へ機々と

共產黨員を派遣赤化工作を開始す。
二十日 フィンランド灣に機雷を敷設、外國船舶の白河通航を禁止す。

ソ聯邦政府機關構成一覽表

- 一九三九年五月現在)
- ソ聯邦人民委員會議
議長 モロトフ (ウエ・エム)
副議長 カガノヴィチ (エル・エム)
ミコヤン (ア・イ)
ブルガニン (エヌ・ア)
ゴズネセンスキー (エヌ・ア)
ゼムリヤチカ (エル・エヌ)
- ソ聯邦人民委員會議直屬機關
國家計畫委員會
議長 ヴオズネネンスキー (エヌ・ア)
副議長 サプロフ (イ・ゼ)
エムチエンコ (ウエ・エヌ)
サウチン (イ・ウエ)
カサトキン (カ・ベ)
- ソソエイト統制委員會
議長 ゼムリヤチカ (エル・エヌ)
副議長 ベレニキー (ゼ・エム)
- 國立銀行
議長 プルガニン (エヌ・ア)
副議長 ソコロフ (エヌ・カ)
- 藝術委員會
議長 ナザロフ (ア・イ)
副議長 マルケロフ (イ・エ)
- 高等教育委員會
議長 カフタノフ (エヌ・ウエ)
副議長 スヘーノフ (ア・エフ)
- ソ聯邦人民委員部
委員 マルイシエフ (ウエ・ア)
委員 リハチエフ (イ・ア)
委員 バルシン (ベ・イ)
委員 タズネツオフ (エヌ・ゲ)
委員 スクルインコフ (エヌ・エ)
委員 ジエムチエウジナ (ベ・エヌ)
委員 スミルノフ (ベ・ウエ)
委員 ソートフ (ウエ・ベ)
委員 コスイギン (ア・エヌ)
委員 ルウキン (エヌ・ゲ)
委員 アンツエウグイチ (エヌ・エム)
委員 ベネチクトフ (イ・ア)
委員 ロバート (ベ・ベ)
委員 ヌグエレフ (ア・ゲ)
委員 ユビエーモフ (ア・ウエ)
委員 ベ (エル・ベ)
委員 リチコフ (エヌ・エム)
委員 ルドウイレフ (エム・エフ)
- ソ聯邦人民委員部
委員 ヴオロシロフ (カ・エ)
委員 モロトフ (ウエ・エム)
委員 フウケリスキ (エヌ・エヌ)
委員 シヤシコフ (ゼ・ア)
委員 カガノヴィチ (エル・エム)
委員 ベルグウヒン (エム・ゲ)
委員 サモワロフ (ア・イ)
委員 デニソフ (エム・エフ)
委員 ソスニン (エル・ア)
委員 カガノヴィチ (エム・エム)
委員 テウオシヤン (イ・テ)
委員 セルグーエフ (イ・ベ)
委員 ヴァンニコフ (ベ・エル)
- ソ聯邦人民委員部
委員 ヴオロシロフ (カ・エ)
委員 モロトフ (ウエ・エム)
委員 フウケリスキ (エヌ・エヌ)
委員 シヤシコフ (ゼ・ア)
委員 カガノヴィチ (エル・エム)
委員 ベルグウヒン (エム・ゲ)
委員 サモワロフ (ア・イ)
委員 デニソフ (エム・エフ)
委員 ソスニン (エル・ア)
委員 カガノヴィチ (エム・エム)
委員 テウオシヤン (イ・テ)
委員 セルグーエフ (イ・ベ)
委員 ヴァンニコフ (ベ・エル)
- ソ聯邦人民委員部
委員 ヴオロシロフ (カ・エ)
委員 モロトフ (ウエ・エム)
委員 フウケリスキ (エヌ・エヌ)
委員 シヤシコフ (ゼ・ア)
委員 カガノヴィチ (エル・エム)
委員 ベルグウヒン (エム・ゲ)
委員 サモワロフ (ア・イ)
委員 デニソフ (エム・エフ)
委員 ソスニン (エル・ア)
委員 カガノヴィチ (エム・エム)
委員 テウオシヤン (イ・テ)
委員 セルグーエフ (イ・ベ)
委員 ヴァンニコフ (ベ・エル)

極東ソ聯の現況——ソ聯政府機關構成一覽



日常攝取する食物中他の栄養物が如何に豊富でもビタミンBを缺く時は種々の障碍を來します

脚氣がこのB缺乏によることは既に確實で疲労倦怠、結核の進行、食慾不振、便秘、妊娠産褥授乳時に於ける諸障碍（早産、悪阻、栄養障碍）等が起り、正常な健康を保持することが出来ません

ビタミンBの始末たるオリザニンの補給は之の素因發生を防ぎ、諸症状を防止するばかりではなく、進んで病氣に對する抵抗力を養ひ體力を維持増進せしめる點で實驗諸家から實用を享けて回ります

（粉末、錠劑、液、エキス、注射液）

詳細なる説明書進呈

体力

維持増進に

強力ビタミンB劑

オリザニン

（登録商標）

東京・日本橋・室町
三共株式会社

滿洲言論界の權威（朝夕刊十四頁）



小學生新聞 附日録

經濟滿洲 月刊

（毎月十五日發行）

昭和十四年十一月二十日印刷
昭和十四年十一月二十五日發行

昭和十五年 滿洲年鑑

〔定價壹圓參拾五錢〕

發行所

株式會社

滿洲日日新聞社支店

大連市東公園町三十一番地

振替貯金口座大連六〇番

著作人兼
發行人

大連市東公園町三十一番地
田中總一郎

印刷人

大連市東公園町三十一番地
力松

印刷所

大連市東公園町三十一番地
滿洲日日新聞社印刷所

家庭常備薬



ひんがし

良薬にして皮膚に泌みず
少しも不快、不體裁の感なく
痒みや痛みを去り快癒が早い

主効

水虫、あせも、ただれ、たむし、いんきん、ひざん、くさ、かゆがり、しらくも、はたけ、そばかす、
蕁虫の刺傷、草、木、うるし、薬品のかぶれ。
其他一切の皮膚病に特効あり。

ティム水 薬價 二十錢、三十錢、五十錢、一圓、二圓
日・満・支各酒店に在

元買發

東京芝區田村町四丁目
電話東京六〇一〇〇番
東京藥院本店
大阪市赤十字病院前
電話大阪五〇八八番
東京藥院支店



和洋酒食料品卸商
●●株式會社
サントリーウキスキー發賣元

三星洋行

大連市連鎖街常盤通
電話代表③二七六一番

取扱品目

塩切・乾海産物
長切昆布・刻昆布
藻類・昆布・海苔
清涼飲料水
干綿布・洋地氈
棉織物・洋雜貨
人絹織物・洋雜貨
石鹼・洋燭
古紙・洋紙
印刷用紙・洋紙
其他一般貿易品

大連市山縣通一八(大倉ビル)
直輸出入
合資會社

大記洋行

電話
夜間
振替
電信
受信略號
TAKI-OKO DAIREN

大連市山縣通二番地
東拓ビルディング内五階



豊年製油株式会社大連支店

電話② 長代表 一八六番
五三二番
八五四番
受電略號 タイレンホウネン

營業種目

大豆・大豆油・大豆粕・蘇子・蘇子油・蘇子粕・落花生・落花生油・落花生粕・蓖麻子・蓖麻子油・蓖麻子粕・胡麻油・胡麻粕・包米・高粱・小豆・混合飼料・日清サラダ油・其他種子類及油粕類並ニ雜穀類

大連市寶町二番地

電話代表② 四一六五番

日清製油株式會社大連支店

本出張場所

東京市京橋區新川二丁目二番地
名古屋、新橋、哈爾濱、四平街、大連、橫濱

米穀卸 小賣

大連市若狹町



志摩洋行

電話 園米部 22・四三六番
酒部 2・三二六九番

志摩泉 釀造元



志摩釀造合資會社

營業所 大連市若狹町一八
電話 2・三二六九番
工場 大連市三春町

内外生果、罐詰
卸 小 賣

高級内外果物店



ミノルヤ果物店

店舖 大連市西通り一三五
電話(2) 一三八七三〇番
卸部 大連市卸賣市場第三十六號

薪炭、米穀
貸家業

三十里堡リンゴ
卸 小 賣

三十里堡驛前 村上果樹園

令村上商店

直賣所 大村
大連市吉野町三〇
電話(2) 一四三三二七番
振替 大連(2) 一四三三二七番

優等無類清酒



シゴキラン

松竹梅
黒松白鹿
實燒酎
實味淋
特製キングウキスキ

特約發賣元

酒問屋 西村洋行

創業 明治四十年
電話(3) 二一五〇八番

御客様第一の
サービス

關東軍 御指定
滿鐵會社

新京富士町二丁目角

新京ホテル

電話×國④六二一六番



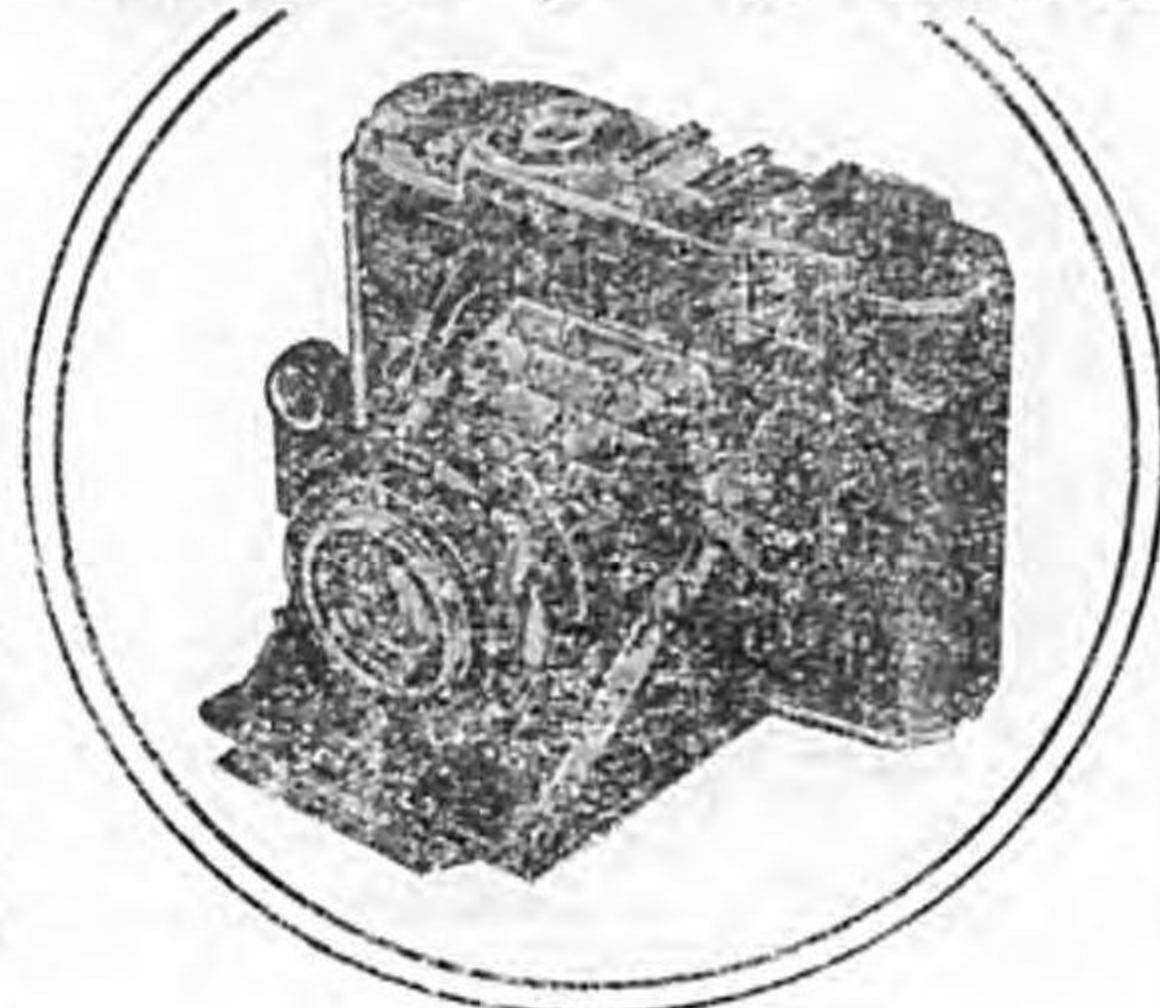
近代味覺の殿堂

割烹 新京

富士町 新京ホテル隣
電話③ 二六〇一番

カメラはカシムへ

スーパーショット



優秀カメラ
發揮した小型カメラ中の
カメラの長所を餘す所無く

ケース・フィルタ付
テツサーF2・8R・C付

其他カメラ、附屬品材料
在庫豊富

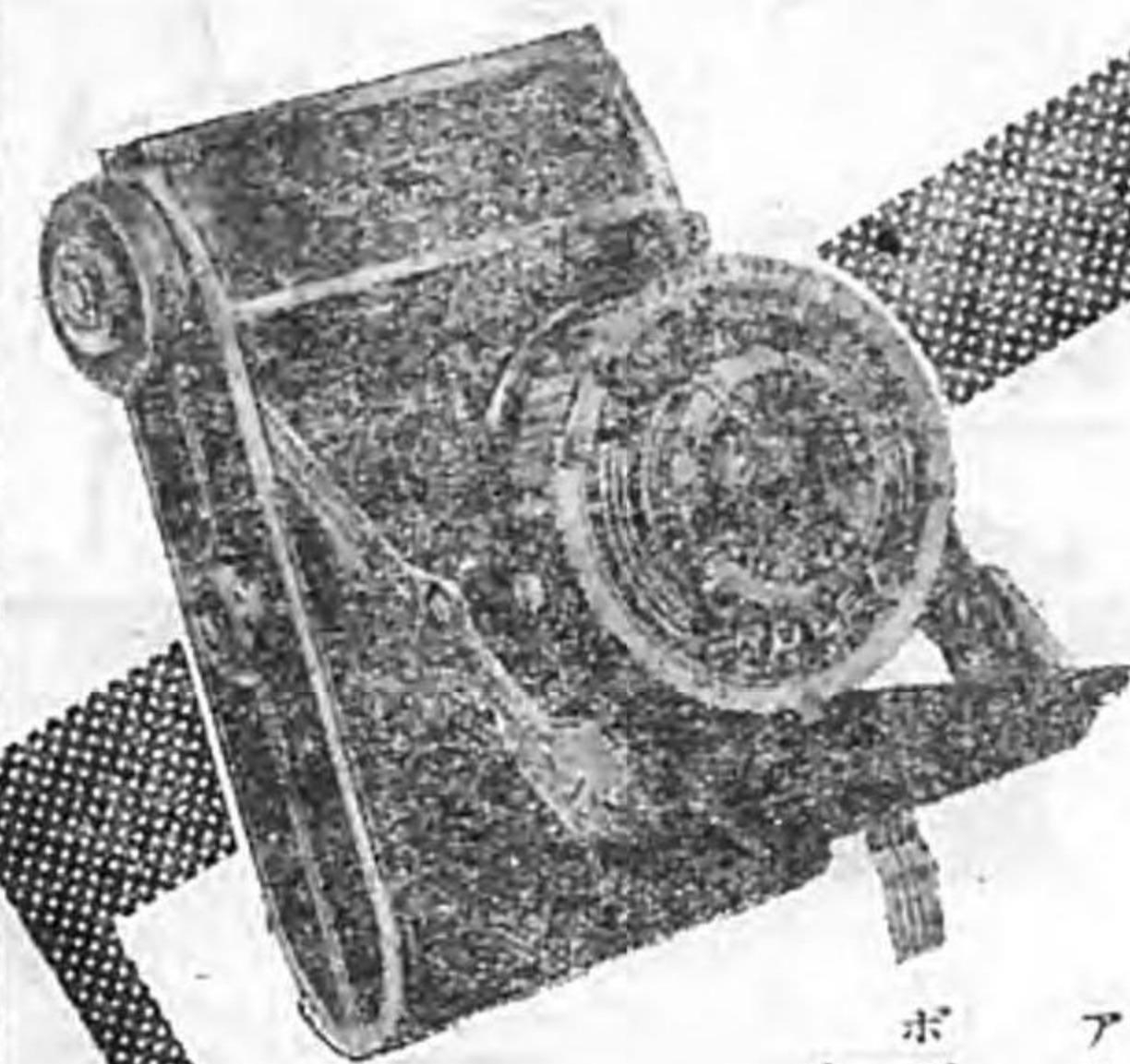
各地關東軍酒保一手御用達
各本部司令部酒保

本店 大連市浪速町一九三

寫真機械 直輸入 櫻村洋行

小賣部 大連市伊勢町浪速町角電③3737
支店 新京興安大路三二九電②1567
支店 奉天千代田通春日町角電②2831

理研光學カメラ



アドラー III型

ブローニーフイルム(1/2)十六枚撮
レンズ アドラー

アナスチグマツト
F4.5

ボデー
金屬製

クローム鍍金

革張
速寫ケース付

▲在庫豊富
型錄通呈▲

佐野洋行

本店 大連市大山通 電2-4601
支店 奉天市千代田通 電2-7209
支店 奉天市千代田通 電3-6327



はスクツポクツチマの圓萬一
 かるせま飲むもう故何

本器は歐米の一流レストラン、ホテルにのみみられるものでしたが、キリンビール會社の特派技師が五年間の研究脚の結果全部洋銀を以て作製、各國のそれと較べて數段の優秀さは、こゝにも工業日本の凱歌があげられてゐるのです。

弊店では眞の生ビール、樽の中を味つていただくため階上ピヤサロン、階下ピヤホールに装置いたしました。

樽の中をそのまゝ飲ませる、生ビールの眞の味は本器に依つてはじめて發揮されるのです。

ンロサヤビ華豪の一唯滿全
 階一館會連大場踏舞 三町盤常市連大

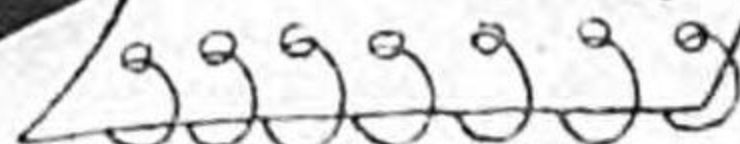
ルホヤビシキ

静なまの

ニッケルパル



お仕事のお疲れ時
 お待ち合せのとき
 お家族連れのとき



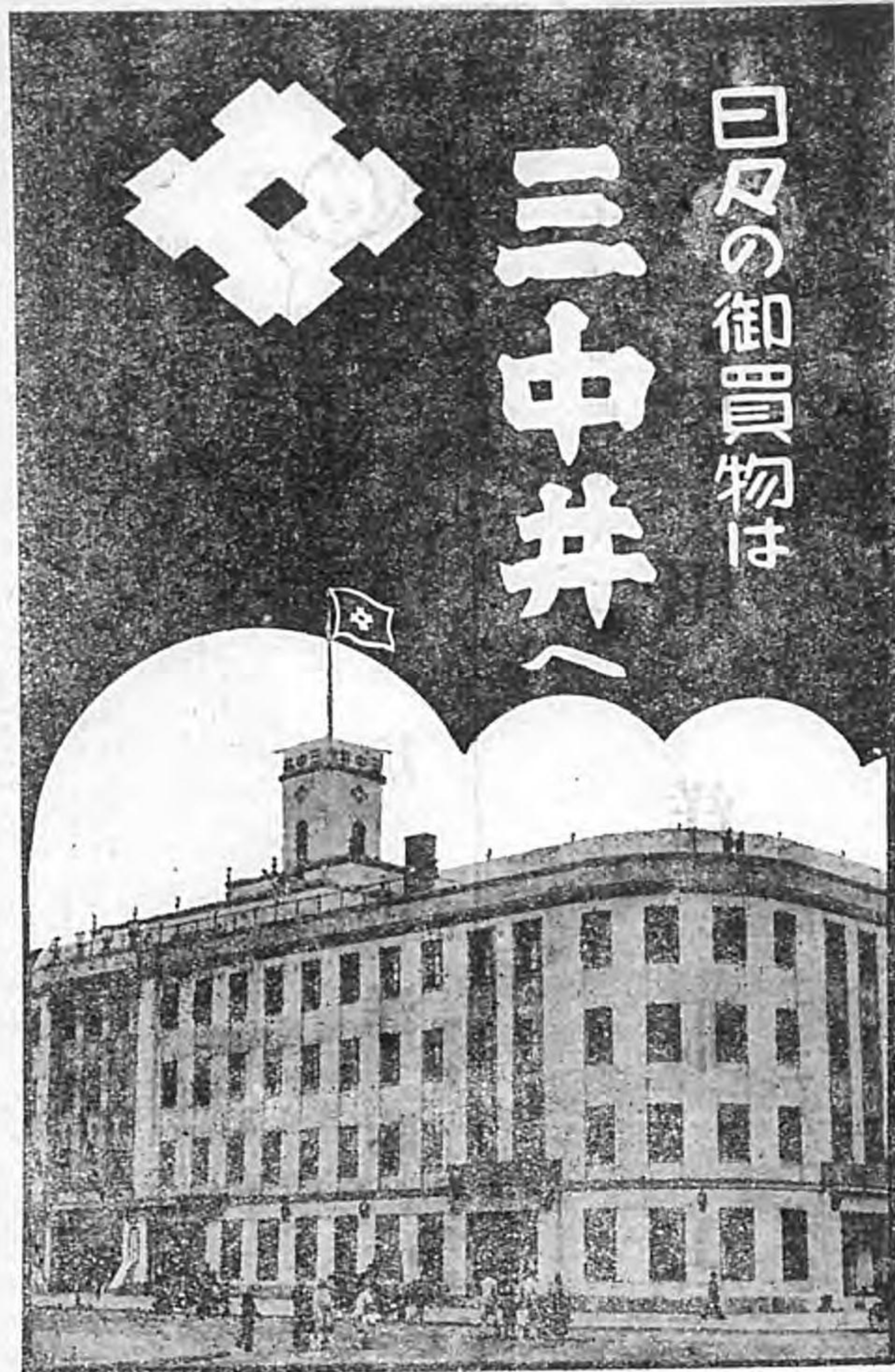
ニッケルパル

そんなとき御利用
 下さい。オアシス
 は街にもあります



新 京

あ茶と甘い



満洲で菓子といへば



天 奉

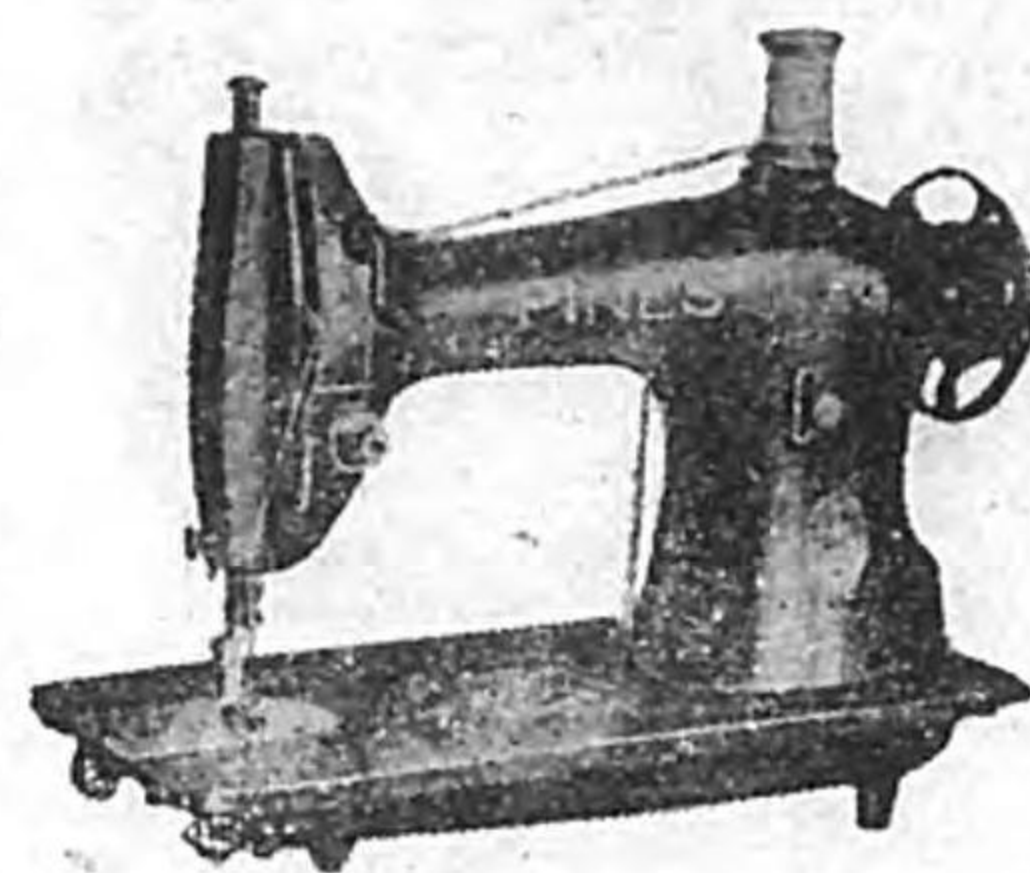
七 福 屋

(前驛)六通速浪天奉	店本
番三六四二(3)話電	
(場廣)六一通安平天奉	店支
番一六二二(3)話電	
五町島ノ江天奉	場工
番六四三三(3)話電	

國民總動員は國産愛用から

パインミシン全滿全支總代理店
 ニッポンミシン全滿代理店
 シンコーミシン全滿代理店
 富士ミシン全滿代理店
 アサヒミシン販賣所

各華滿滿陸
 女北鐵洲
 學交用國軍
 校通度品需
 納御御局御
 入用用用



工業職家
 業業庭
 用用用
 油部ミ優
 卸分シ秀
 小品ン國
 賣針及産

中山洋行

(中山婦人服店直營)

大連市連鎖街銀座

電話③二二四九番

振替大連五一二五番

支店 奉天・新京・北京

大連市西通八二

島田洋服店

電話(二)二九七六番

標商

潑清

刺新



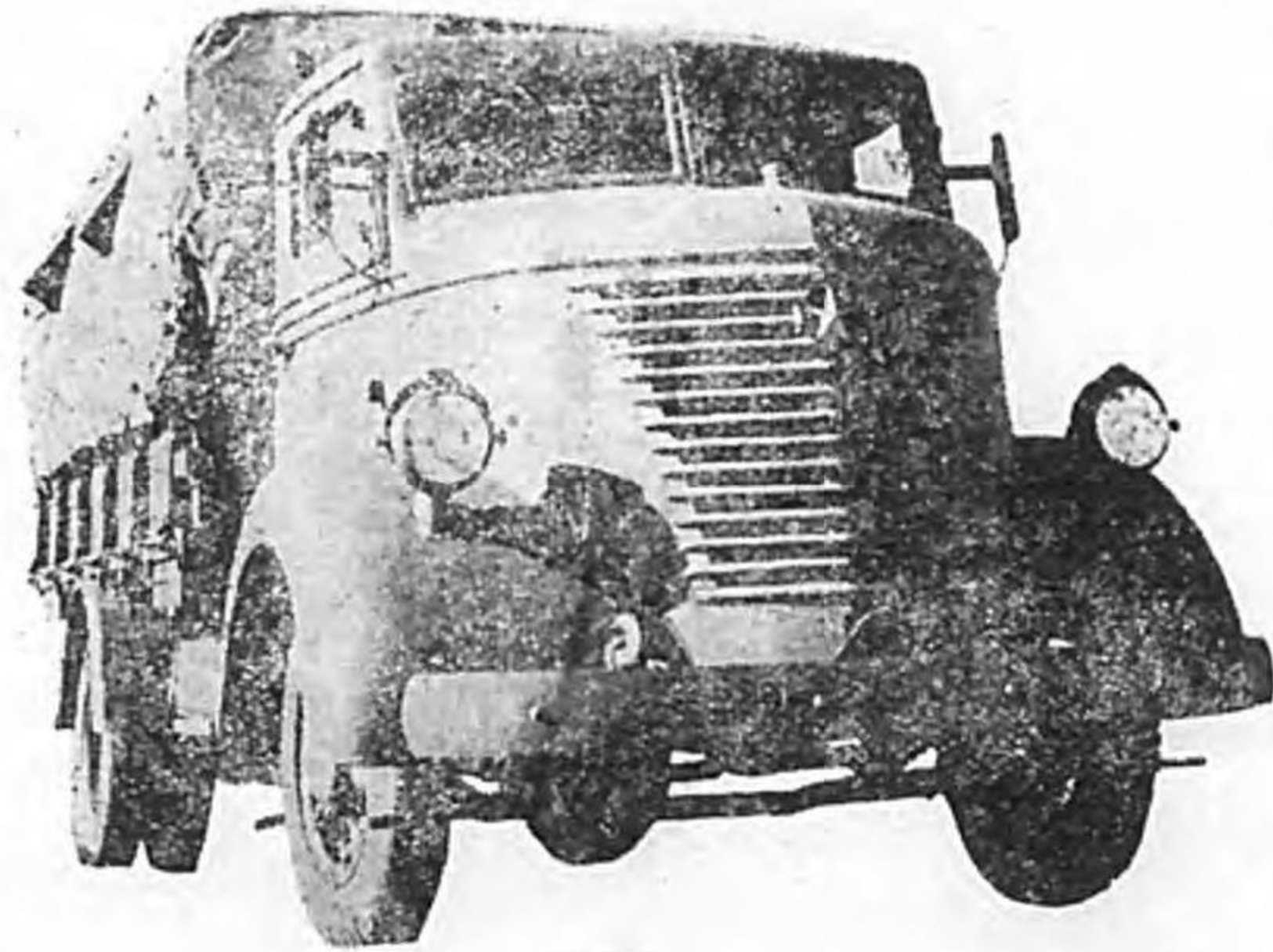
大連イワキ町

坂本洋服店

電話②七〇二〇番



ニッサン トラック・バス



關東州一手販賣所

清水貿易株式會社大連出張所

大連市榮町三十七番地
營業部 電話③4717番
サービス部 電話②5503番



明治屋一手販賣
トミー・モルト
ウヰスキー

特製 月桂冠 壘詰
發賣 元

株式會社



明治屋大連支店

大連市常盤町三

電話(三)四六四一
番(三)四八七四
振替大連四八二番

時計の保護に
 われても
 そのまゝ
 使へる
 大切な機
 械に硝子
 の破片が
 入らず文
 字板を傷
 けず強靱
 性普通硝
 子の數倍
 なり

專賣特許



各時計店百貨店に有り

製造發賣元

株式會社 **小西光澤堂本店**

- 本店 東京市京橋區京橋一丁目一番地
- 支店 大連市西公園町四七
- 出張所 米國、ニューヨーク
- 名古屋、市、札幌市
- 工場 第一工場大阪府中河内郡巽村
- 第二工場大阪府中河内郡加美村
- 第三工場大阪府中河内郡矢柄
- 滿支各代理店
- 北滿代理店 哈爾濱中國十二道街
- 前田時計店
- 天津方面代理店 天津日租界街四ノ四
- 三橋新商店
- 青島方面代理店 青島聊城路
- 西南堂時計店
- 上海方面代理店 上海密勒路一〇七
- 深澤時計店
- 新京代理店 新京中央通
- 岩間時計店

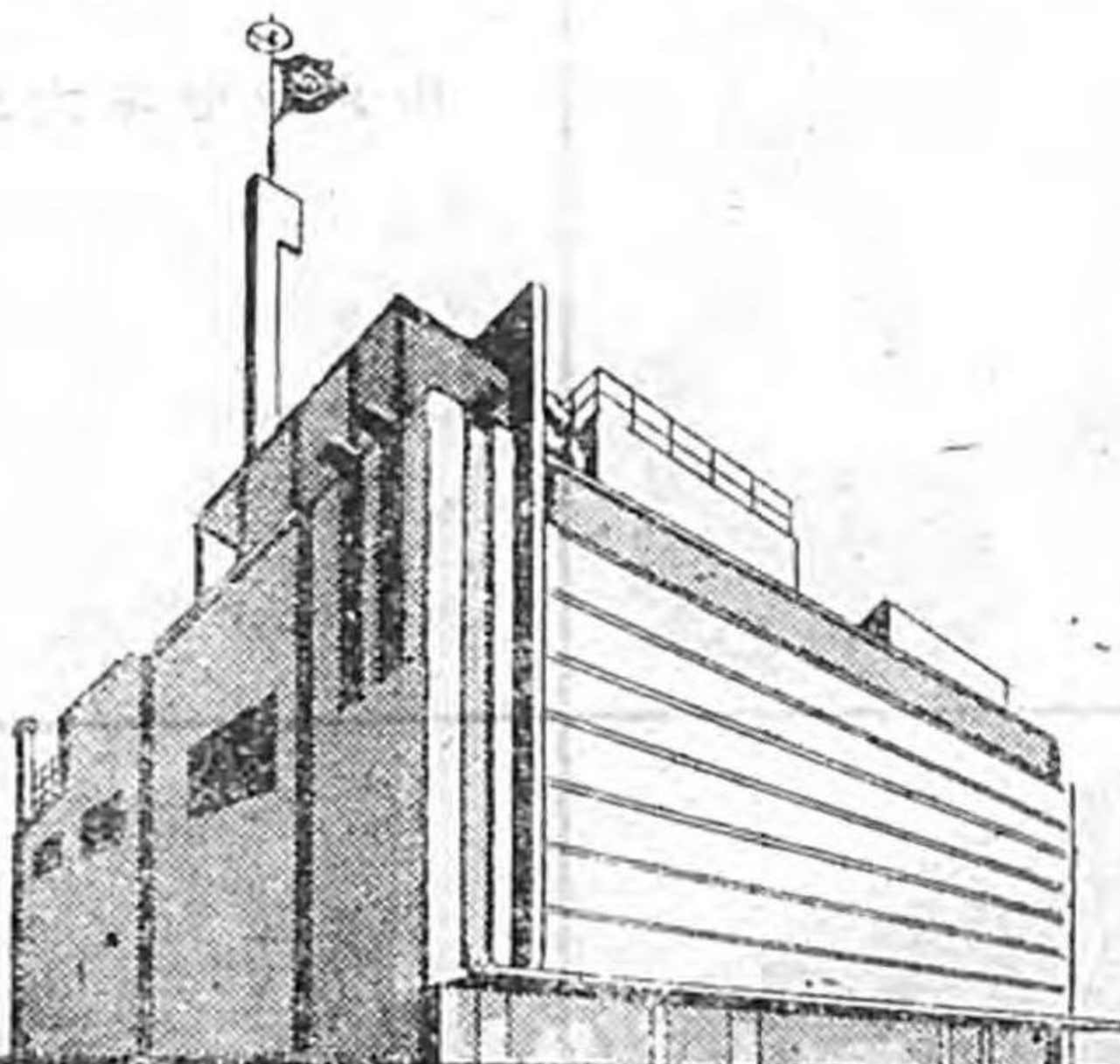
奉天石炭販賣組合

!!へ毛満



手物買

る集足の満全



百貨店 毛満 皆採の

一五五三(表代)話電 天 奉

充 内 奉 誠
實 容 仕 實

營業種目

和 洋 服・毛 皮 類
絹・綿 布 衣 類 一 切
丸 ク リ ー ニ ン グ・シ ミ ヌ
キ・洗 張・和 洋 洗・濯 一 式

關東陸軍。滿鐵消費組合 御指定
關東廳。逓信局職員購買組合



大連市淡路町四四番地

大 連 工 場

電話長②4629・②4913番

奉天市大和區二經路八緯路

奉 天 工 場

電話長② 二九七一番

HÖ-BUIL HOTEL
HÖTEN



内容共に全満一の大ホテル!!

▲客室 和洋四百室(電話、化粧室、浴室付)

▲室料 金貳圓より十八圓迄

▲ Grill、大宴会場、神前結婚式場、寫真部

▲位置 大奉天の重要地区の中心地に位し奉天
驛より徒歩五分時

奉天住吉町五番地

ホービルホテル

電話代表三一四八一番

明治ヨコレ

美と健康を束す近代食品

強力栄養

甘味な味



明治五大キヤメラ

明治ヨコレキヤメラ

明治クレーマキヤメラ

明治ココヒーキヤメラ

明治ミクルキヤメラ

明治モレキンヤメラ



明治製菓株式会社



454
1-35
15.7.16



キリンビール

最古の歴史
最新の設備
最上の品質

麒麟麦酒株式会社



店の子菓洋とンハ
種各げやみ地内



橋 盤 常
菓製亞東

番九五四五(二)話電表代

2292

